

(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン素案に対する 市民意見募集実施結果及びビジョン策定について

人口減少や少子高齢化の加速による市税収入の減少が見込まれる中、市民センター等（市民センター、コミュニティセンター、市民フォーラム）の維持管理経費の財源確保が課題となっています。

また、デジタル社会の進展により、行政窓口へ来所することなく自宅や身近な場所でより簡単に行政手続が可能になるなど、市民センター等を取り巻く環境は、今後ますます変化していくことが予想されます。

そこで、限られた財源の中で社会変化に対応し、より良い行政サービスが提供できるよう、将来を見据えた長期的な視点で市民センター等の機能のあり方について示す「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を策定します。

1 素案に対する市民意見募集の実施結果【別紙1－1，1－2参照】

2 ビジョンの概要【別紙2－1，2－2参照】

(1) 計画期間

2021年度～2039年度

(2) 目指すべき将来像と施策の柱

今後めまぐるしく変化する社会状況や市民センター等を取り巻く環境変化等を見据え、本ビジョンでは、「サービス・利便性」「ソフト・魅力」「地域・コミュニティ」「コスト・民間協働」という「4つのチェンジ」を施策の柱に位置付け、これらの柱に基づく取り組みにより、市民センター等がく**便利で楽しい地域の拠点**となることを目指します。

また、施策の成果を測るため、施策の柱ごとの成果指標を設定し、効果的な取り組みを進めていきます。

3 今後のスケジュール

2021年3月下旬「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」策定・公表

4 今後の推進方針

(1) ビジョンの推進

本ビジョンを着実に推進するため、各地域センターの運営委員会やセンター祭り実行委員会、町田市町内会・自治会連合会、地区協議会などの地域団体や地域支援団体、大学等の教育機関、民間事業者等と行政が協働しながら各事業に取り組みます。また、これらの取り組みの円滑な推進と計画の進捗管理を行うため、「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」を設置するとともに、社会変化に迅速に対応するため「町田市公共施設再編計画（短期・中期・長期）」に合わせてビジョンの中間見直しを行います。

(2) 今後の検討の進め方

今後の具体的な取り組みについて、2022年度を目途に「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討します。

【別紙 1－1】

(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン素案 市民意見募集の実施結果（概要）について

(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョンの策定にあたり、ビジョン素案について市民意見募集を実施し、以下の結果となりました。

1 実施概要

(1) 募集期間 2020年12月15日（火）～2021年1月15日（金）

(2) 資料の閲覧及び配布

ビジョン素案については、町田市ホームページに掲載したほか、各市民センター、駅前連絡所、図書館等で閲覧していただくとともに、各施設で素案の概要を配布しました。

2 寄せられた意見の件数・内訳

(1) 件数 90者から155件のご意見を頂きました。

(2) 内訳

ご意見の内容	件数
1 計画全体に関するご意見	9件
2 取り組みの方向性に関するご意見	88件
(1)「サービス・利便性」をチェンジに関するご意見	24件
(2)「ソフト・魅力」をチェンジに関するご意見	15件
(3)「地域・コミュニティ」への支援をチェンジに関するご意見	15件
(4)「コスト・民間協働」をチェンジに関するご意見	34件
3 スケジュールに関するご意見	0件
4 ビジョンの推進に関するご意見	4件
5 その他のご意見	54件
(1) 市政に関するご意見	20件
(2) 施設の再編(集約・廃止・維持)に関するご意見	12件
(3) 使用料に関するご意見	2件
(4) 利用に関するご意見	1件
(5) 設備に関する要望	10件
(6) その他のご意見	9件
合計	155件

ご意見の主な内容は以下の通りです。

分類	ご意見の概要	
全体に関するご意見	・市民センターの今とこれからについて、はっきりとした方針が示されていて納得できた。 ・アンケート結果や現状の利用状況など資料から読み取れることは要望も含めどれも理解できる。幅広い世代の住民参加型の議論の場を今後も数多く設け、市民センターの未来について意見交換を繰り返すことが良い。 ・市施設の老朽化が進んでいる状態の中、少子高齢化が進んでいる。今なんとかしないとチャンスを失ってしまうのではないかと。財政がひっ迫している中大変だとは思いますが、決断する時である。 ・市民センターの縮小廃止を前提としている計画に他ならず、少子高齢化に対してむしろ必要なのは市民センターの拡充であり、お年寄りが使いやすい利便性の追求であるべき。市政は地域住民への奉仕が基本であり、利益を追求する民間への委託には反対する。	
取り組みの方向性に関するご意見	(1) 「サービス・利便性」	・行政手続きについて、証明書発行に特化した窓口機能の縮小は受け入れられる。 ・行政のデジタル化が必要と思うが、マイナンバーカードの普及拡大において個人情報の流出がないよう市民が信頼できる事業を立ち上げてほしい。 ・誰もが使いやすい行政サービスの実現を目指すことについて、デジタル化に上手く対応できない人への対応が必要。 ・相談窓口への転換は、デジタル化の促進が前提になっており、すぐに切り替えられるものではないと思うが、限られた職員には機械でもできる手続きではなく、相談者に寄り添うコーディネーター的役割を期待したい。
	(2) 「ソフト・魅力」	・気軽に活動できる場所として市民センターなどでのイベントがあるとよい。そこから交流が生まれるのではないかと。 ・軽い飲食が出来るスペースがあると若い人の活用等が増えるのではないかと。 ・民間団体などと連携して、高齢者、親子をターゲットにした企画ができれば、足を運んでもらえるきっかけになる。
	(3) 「地域・コミュニティ」	・施設やセンター等の使い易さ、交通の便、駅からのアクセスの簡単さ、又は駐車場等の配慮が望まれる。 ・もっと気軽に使える、地域に根差した交流の場が必要である。地域住民が使いやすい環境や仕組みを計画することについて検討してほしい。

	(4) 「コ ス ト・民間 協働」	・学校等の空き部屋も利用できるとよい。 ・各施設の老朽化は市民にとっても気掛りである。人件費削減することを考えると、市民が自立して施設等利用出来るように考えていかなければならない。 ・指定管理者や民間事業者への委託等を行うことにより、イベントの入場料や参加料の徴収が常態化することが懸念される。公益性をいかに確保していくかが課題になる。 ・学校施設が、子どもたちの教育の場であることは論を待たないが、他方で社会から切り離された教育は有りえない。共働き家庭が増える中で、放課後の子供たちの安全や安心の確保、高齢者も含めた地域住民の多様な交流が今後ますます必要とされる。こうしたニーズを取り入れた複合化・多機能化施設は、地域の活性化と新しいコミュニティづくりに欠かすことができない。 ・学校は子供達の学びの施設であり静かな環境を提供すべきと考える。学校施設の利用は反対。 ・利用料が安いから利用できる・民営化はたとえ魅力があっても儲けにつながるもので利用料が高くなるので反対。高いお金を払い夢のようなものを作られても利用できる人は限られるので反対。
	ビジョンの推進に関するご意見	・「推進委員会」の検討期間の途中でも、その間を縫って地域住民の声が反映されているかどうかを市民が検証できるよう、絶えず努力を積み重ねていただきたい。 ・市民センター等を、いつでも誰でも気軽に立ち寄れ楽しく過ごせる場所とすることを目標にしており、是非このような施設にしてほしい。各種相談に応じる場所にしたいという目標もあり、各種行事やイベント等の実施を含め、それらを総合的にコーディネートする人や団体を配置することも今後の検討に入れてほしい。
その他の ご意見	施 設 の 再編	・コミュニティセンターについては、利用率や利用形態から再配置(集約化)の検討を進めて良い。再配置の検討にあたっては、市民部の所管する施設だけではなく、一般開放可能な会議室等を併設している施設を所管する部署を含め、町田市全体を見て再配置を検討すべき。 高齢者福祉計画や介護保険事業計画では、地域活動への参力日促進と生きがいづくりのため、通いの場をつくることを推奨しており、コミュニティセンターが現状で「通いの場」となっていることから、総量の極端な圧縮は避けていただきたい。

【別紙１－２】

(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン素案
市民意見募集実施結果

２０２１年２月１５日

町田市

「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン素案」の意見募集実施結果

「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」の策定にあたり、「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン (素案)」について市民の皆さまにご意見を募集しました。

1 意見の募集期間

2020年12月15日(火) から2021年1月15日(金) まで

2 意見募集の方法

●以下の施設での資料閲覧・配布

市庁舎(市民総務課・広聴課・市政情報課)、男女平等推進センター、各市民センター、各連絡所、各コミュニティセンター、生涯学習センター、各市立図書館、町田市民文学館

●町田市ホームページへの資料掲載

●「広報まちだ」(2020年12月15日号)、町田市メール配信サービス、町田市公式LINEへの掲載

●Eメール、ファックス、窓口への提出等

3 寄せられたご意見の内訳

90者から155件のご意見をいただきました。ご意見の内訳は以下のとおりです。

(おひとりから複数の趣旨のご意見をいただいた場合は、趣旨ごとに分割して集計しています。)

【ご意見の内訳】

1 計画全体に関するご意見	No.1~9(P2~6)	9件
2 取り組みの方向性に関するご意見		88件
(1)「サービス・利便性」をチェンジに関するご意見	No.10~33(P7~18)	24件
(2)「ソフト・魅力」をチェンジに関するご意見	No.34~48(P18~24)	15件
(3)「地域・コミュニティ」への支援をチェンジに関するご意見	No.49~63(P24~30)	15件
(4)「コスト・民間協働」をチェンジに関するご意見	No.64~97(P31~44)	34件
3 スケジュールに関するご意見	(P44)	0件
4 ビジョンの推進に関するご意見	No.98~101(P44~48)	4件
5 その他のご意見		54件
(1)市政に関するご意見	No.102~121(P48~53)	20件
(2)施設の再編(集約・廃止・維持)に関するご意見	No.122~133(P53~57)	12件
(3)使用料に関するご意見	No.134~135(P57)	2件
(4)利用に関するご意見	No.136(P57)	1件
(5)設備に関する要望	No.137~146(P58)	10件
(6)その他のご意見	No.147~155(P58~60)	9件
合計		155件

ご意見の概要とそれに対する市の考え方は次のとおりです。なお、取りまとめの都合上、いただいたご意見は項目ごとに整理し、要約して掲載しています。

【ご意見と市の考え方】

1 計画全体に関するご意見 (9件)

No.	ご意見	市の考え方
1	市民センターの今とこれからについて、はっきりとした方針が示されていて納得できた。統計を元に問題を客観視し、実際にいっとう取り組むのかを詳しくまとめており、そういった案の綿密さが納得に繋がった。特に『施策の柱』として掲げられた、持続可能な施設の管理、地域やコミュニティへの支援などの目標が適切だと感じた。利便性を追求するということところで止まることなく、デジタル化などによって発生する問題について考慮された目標である。 変化の多いこの大変な時だからこそ、管理や財政のありかたを見直し、施設の整備や拡充など、安心につながる運営のために施策を推し進めてほしい。 市民の声を十分に取り入れた、市民による市民のための素案になっていると感じた。コミュニティ作りの相談などを通して、この案の通りに市民センターをより良いものにしていってほしいと思う。	「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」を着実に推進するため、市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
2	具体的な文言があまりなく不安な点を多く感じられた。民間と協働するメリットばかり書かれているかに見えるが役所のやるべき事は何か。高齢化が今後ますます進む中、高齢者や障がい者にやさしい社会を望む。立派な建物は必要ない。	具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
3	もう少し市民目線で作成するとよい。内容や数値に関しては正確なものを提示していると思うが、市民の注目を集められるかと考えた時少し違うと感じた。今起きている問題というのは市民も一緒になって考えなくてはならない。興味を持たせるためにももう少し簡	「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」につきましては、いただいたご意見を基に文言やグラフの修正及びイラスト等を追加す

	略化をするとよいのではないか。例えばイラストなどを使うと、目に入ってくる情報が感じ取りやすく市民の興味をさそう。次に市民に考えさせる時間を設けるべき。内容としてはSNSの活用と各世帯に今の町田市の現状と課題の記された資料を送り、少しでも市民に触れてもらうのが一番だと思う。アンケートなども取れば尚良い。	る予定であります。各施策の取り組みに当たっては、地域ワークショップを開催する等、市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでまいります。
4	町田市の公共施設の老朽化、少子高齢化と人口減少を背景として、施設再編が計画されている。しかしその目的と方向性は、人件費節約などを目指した廃止と統合化として進められている。例えば、鶴川団地図書館やさるびあ図書館は廃止とされ、駐車場利用者や団地住民などの交通弱者には、危険で遠方の図書館利用を強いる結果になる。町田市の福祉などの政策は、これまで多くの住民、また市外からも認められたものであった。この方向を失わぬ為には、市民センター等の政策も、市民へのサービス縮小の方向ではなく、市民の生活の利便と福祉を推進する物で無くてはならない。その上で、目指すべき将来象として具体的な提言を行うべきでないか。例えば「市民、団体と連携」を云うのであれば「コストの削減」や「民間企業導入」の一環としてではなく、市と市民が対等な立場となるようなやり方を目指す事が、言葉どおりの「協働」となるはずである。そしてその為には、市民に活動する力をつける育成の機会も必要となる。市が市民と共に活動したり、活動を学ぶ場を設け、市民活動の訓練をする場も提供すべきではないか。町田市が真に市民との協働を目指す町となる事を望む。	「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」は、様々な社会変化に対応し、より良い行政サービスが提供できるよう市民センター等のあり方を示すものであり、各施策において市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでいくことが重要であると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
5	2020年2月のアンケートによれば、行政窓口の縮小、集会施設の廃止または民間委託が多数とされている。アンケートは、	「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」の策定に当たって

	もちろん無作為抽出の客観的な方法をとられたことと思うが、アンケートを取る場合、その市民センター等の近隣住民の声を地域の町内会などの協力を求めたアンケート、あるいは市民センター利用者の声を聞き、その存在意義をまずつかむところから判断材料にしていきたい。	は、学識経験者、町田市町内会・自治会連合会の代表、地域センター運営委員会等の代表、公募市民で構成する「町田市市民センター等のあり方検討委員会」や、全ての地区協議会、各市民センター等の利用者、高校生、公募市民等へのインタビューやワークショップ等を実施し、様々なご意見を聴取してまいりました。 今後の各施策の取り組みに当たっては、地域ワークショップを開催する等、市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでまいります。
6	アンケート結果や現状の利用状況など資料から読み取れることは要望も含めどれも理解できる。建物に関することや設備などのハードの問題、サービスの部分では要望の多様化により求められていることが多岐にわたることが理解できた。幅広い世代の住民参加型の議論の場を今後も数多く設け、市民センターの未来について意見交換を繰り返すことが良い。そのプロセスを住民が楽しむことができれば未来の市民センターのカタチも見えてくる。	各施策の取り組みに当たっては、地域ワークショップを開催する等、市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
7	市施設の老朽化が進んでいる状態の中、少子高齢化が進んでいる。今なんとかしないとチャンスを失ってしまうのではないか。財政がひっ迫している中大変だとは思う	「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」を着実に推進するため、市民、団体、事

	が、決断する時である。	業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでまいります。いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
8	○「第1章 計画の概要」について 公共施設の老朽化、少子高齢化による税収入の減少化は、客観的事象であり今後の全ての市政/行政サービスの大原則である。いかなる市政/行政サービスの質的脆弱の言い訳にされるべきではない。この事象を真正面から受け止め、問題解決を図るための未来ビジョンであってほしい。 ○「第2章 市民センター等の現状と課題」について センター等の持つ「行政サービス機能」と「市民活動支援機能」を分離して考えるべき。行政サービスは限りなくデジタル化に象徴される情報システム化によって合理化され、市民へのサービスレベルの向上を果たすとともに、市民スタッフの省力合理化による人件費を削減し、収入減に寄与する。市民活動支援の向上は、財政難を理由にコストダウン一辺倒に走ることなく、合わせてサービスダウンなきよう配慮されるべき。特に市民の求める「(地理的) 利便性向上」とは、市民の居住地の近くに存することで、市当局に便利な公共交通機関の密集地域に存することではないと確認してほしい。 ○「第3章 目指すべき将来像と施策の柱」について 4つのチェンジ/施策の柱については、抽象的すぎて理解できない。民間協働(依存?)すなわちコスト削減という発想は、安直すぎる。	「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」は、様々な社会変化に対応し、より良い行政サービスが提供できるよう市民センター等のあり方を示すものであり、各施策において市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでいくことが重要であると考えております。 また、具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

	○「第４章 取組みの方向性」について行政サービス機能向上は、常に市当局に課せられた義務である。今後とも市民満足度の向上を目指して頂きたい。市民活動支援機能向上には、誰が、どのようにという施策案が示されていないように思う。	
9	市民センターの縮小廃止を前提としている計画に他ならず、少子高齢化に対してむしろ必要なのは市民センターの拡充であり、お年寄りが使いやすい利便性の追求であるべき。更に行政窓口を縮小するためにデジタル化をうたい、マイナンバーカードの普及を前提としているが、政府の思惑通りに普及する見込みはたっていない。マイナンバーカードには個人情報の流出懸念があり、世論調査でも約３割の人はマイナンバーカード取得に否定的である。そのようなマイナンバーカードをデジタル化の基本に据えること自体が間違っている。また利便性の向上のために大規模な施設に集約しているが、高齢化が進む中でお年寄りの利便を考えるなら逆に身近なところに市民センターを拡充すべきではないか。少なくとも今ある市民センターは存続すべきであり、縮小廃止を前提としたこのような計画には断固反対する。また民間への管理委託も全国的に失敗事例が多出しており、行うべきではない。市政は地域住民への奉仕が基本であり、利益を追求する民間への委託には反対する。	「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン」は、様々な社会変化に対応し、より良い行政サービスが提供できるよう市民センター等のあり方を示すものです。 本計画では「サービス・利便性」を施策の柱の１つに掲げ、安心して手続きができるよう行政手続のデジタル化を推進する一方で、市民センター等で気軽に相談できる環境を目指しております。 また、地域の活動拠点として市民、団体、事業者の皆様と行政が協働し、市民サービスをこれまで以上に向上させていくことが重要であると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

2 取り組みの方向性に関するご意見 (88件)

(1)「サービス・利便性」をチェンジに関するご意見 (24件)

No.	ご意見	市の考え方
10	デジタル化に賛成する。	施策の方向性「①行政手続きのデジタル化の推進」において、いつでもどこでも安心して手続きができるよう行政手続きのデジタル化を推進することを掲げております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
11	証明書の発行はコンビニに移行して窓口は廃止という意見はそこそこあるが、コンビニでは細かい質問はできない。ただ書類を発行してもらっただけならコンビニでも十分だが、聞きたいことがあるときには職員のいる窓口で尋ねたい。地域にあるセンターだからこそ気軽に質問しやすいというものだ。多少の合理化はやむを得ないとして、各地区のセンターに職員を配置することは廃止しないでほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
12	オンライン化、マイナンバーカード利用は高齢の人にはなじまない。	施策の方向性「①行政手続きのデジタル化」

		において、行政手続のデジタル化の推進を掲げる一方で、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」において、デジタル機器での行政手続等の相談に対応できる体制を整えることを掲げております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
13	サービス・利便性について、+αの取り組みによって更に良くなっていく事を期待している。行政手続きのデジタル化に対してはタッチパネルの導入で高齢者でも取り扱いやすいのではないかな。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①行政手続きのデジタル化の推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
14	施設の使用料金をWeb上で前払いできるとよい。	いただいたご意見につきましては、施策の方

		向性「①行政手続きのデジタル化の推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
15	市役所での諸手続きがマイナンバーによってコンビニ等で出来るようになったが、年寄りには勿論若い人でも窓口に行きたい人もいます。誰でも気軽にコンビニを利用できる方法が必要（役所とつながるテレビ電話を設置等）。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
16	政府はマイナンバーカードの普及・拡大とその利用促進に躍起になっているが当該カードの余り利用されない背景には(a)なくしたときのリスクの大きさ(b)個人情報漏洩の大きな可能性とその懸念(c)オンライン化に対するためらい等がある。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①行政手続きのデジタル化の推進」の取り組み課題であると考えております。ご意見につきましては、今後の検討の

		参考とさせていただきます。
17	市民の利便性向上を目的として設置された証明書発行に特化した行政窓口については、休日窓口の開設等により所期の目的を達成したと思われるため、若干の市民サービス低下が懸念されるものの、素案どおり廃止はやむを得ない。	取り組みの概要「行政手続きのデジタル化に伴い、証明書発行に特化した窓口機能の縮小や廃止」の具体的な取り組みであると考えております。具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。ご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

18	デジタル化はある程度許容できてても高齢者にとってはハードルが高い。マイナンバーカードは情報漏れなど想定外のことが起こることを考えてほしい。利用のされ方に危惧を感じる。	施策の方向性「①行政手続きのデジタル化」において、行政手続きのデジタル化の推進を掲げる一方で、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」において、デジタル機器での行政手続き等の相談に対応できる体制を整えることを掲げております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 また、マイナンバーカードの安全性につきましては、カードの普及促進の取り組みを進める中で、引き続き市民の皆様へ丁寧にご説明していくことが重要だと考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
19	デジタル化が推進されているが、私の様なアナログ人間にとっては対面で手続きができる場所は1か所でもいいので継続して残して欲しい。	施策の方向性「①行政手続きのデジタル化」において、行政手続きのデジタル化の推進を掲げる一方で、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」において、デジタル機器で

		の行政手続等の相談に対応できる体制を整えることを掲げております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
20	行政手続きについて、証明書発行に特化した窓口機能の縮小は受け入れられる。	取り組みの概要「行政手続きのデジタル化に伴い、証明書発行に特化した窓口機能の縮小や廃止」の具体的な取り組みであると考えております。具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
21	誰もが使いやすい行政サービスの実現を目指すことについて、デジタル化に上手く対応できない人への対応が必要。行政窓口を相談できる場へ変化について、受付でまず、どこに行けばいいのか、どう対処すればいいのか等相談にのってくれる場へ。	施策の方向性「①行政手続きのデジタル化」において、行政手続のデジタル化の推進を掲げる一方で、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」において、デジタル機器で

		の行政手続等の相談に対応できる体制を整えることを掲げております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
22	コンビニエンスストア等で証明書を取得できることや、マイナンバーカードによってスムーズに交付できることを知らない人が市内にまだいる。市の人が多く使用するまちっこに広告をつけてみてはどうだろうか。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①行政手続きのデジタル化の推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
23	イートイン付きのコンビニを市民センターに設置してみてはどうだろうか。特に用がないと行く機会があまり無い市民センターも、コンビニがあれば機会が増える他、そのコンビニで各種証明書を交付することで市民センターの縮小もできるだろう。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みにつ

		いては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
24	手続きの無人化：マイナンバーカードで手続きが簡略化できるので機械化することで人件費削減ができ、市民センターの規模を縮小できるのでは。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
25	フリースペースを作り Wi-Fi などをつなげてテレワークが出来るスペースを作る。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③市民センター等の機能等の見直し」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

		せていただきます。
26	市民センターやコミュニティセンターなどに飲食可能なフリースペースを設置する。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③市民センター等の機能等の見直し」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
27	Wi-Fi が使えるのは一部のエリアに限られるため、全エリアで使えるようになったらいい。コロナウイルスの流行で、Zoom を多く取り入れるようになったため、今後はもっと必要になると思う。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③市民センター等の機能等の見直し」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
28	素案の内容、取り組みの方向性に関しては納得できる内容であり、特に意見はない。実際にホールや会議室等を利用している立場から言えば手続き等のデジタル化の方向の中でも新しい方式についていけない高年齢層に対する配慮も忘れず、旧来の方式でも手続きが可能な道を必ず残しておいていただき	施策の方向性「①行政手続きのデジタル化」において、行政手続きのデジタル化の推進を掲げる一方で、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」に

	たい。	において、デジタル機器での行政手続等の相談に対応できる体制を整えることを掲げております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
29	私は昨年ある 50 代前半の独身男性の現状を知った。両親が亡くなり、親の残した貯金で食べており、彼も 2、3 年前に失職しお金は無くなりガスは止められ電気も滞納。もう少しで「孤独死」になるかもしれないところだった。老人 (65 歳以上) 子供には駆け込み寺があるのに！彼が相談するところはどこにもない。20 代～65 歳までどこに行けば良いのか。至急対策をお願いしたい。	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。くとともに、関係部署と共有いたします。
30	行政手続きのデジタル化は時代の流れとはいえ、高齢者にとってはハードルの高いもの。ホームページが中心で紙情報が少なくなった今、ネットが使えない、パソコンを持たない人達が置いてきぼりにされている現状も理解して対策を立ててほしい。マイナンバーは情報漏れなど想定外のことが起こることを考えて（市役所といえども信用できない）利用のされ方に危惧を感じる。	施策の方向性「①行政手続きのデジタル化」において、行政手続のデジタル化の推進を掲げる一方で、施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」において、デジタル機器での行政手続等の相談に対応できる体制を整えることを掲げております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)

		町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 また、マイナンバーカードの安全性につきましては、カードの普及促進の取り組みを進める中で、引き続き市民の皆様へ丁寧にご説明していくことが重要だと考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
31	行政のデジタル化が必要と思うが、マイナンバーカードの普及拡大において個人情報の流出がないよう市民が信頼できる事業を立ち上げてほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①行政手続きのデジタル化の推進」の取り組み課題であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
32	施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」は、①のデジタル化の促進が前提になっており、すぐに切り替えられるものではないと思うが、限られた職員には機械でもできる手続きではなく、相談者に寄り添うコーディネーター的役割を期待したい。相談に対する担当部署が複数になる場合で	施策の方向性「②手続きのための窓口から相談窓口への転換」につきましては、行政手続きのデジタル化の進展に合わせて実施していく必要があると考えております。

	あっても、相談者はワンストップで希望が叶えられるような体制にしてほしい。	ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
33	施設の団体利用登録申請をデジタル化してほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

(2) 「ソフト・魅力」をチェンジに関するご意見 (15件)

No.	ご意見	市の考え方
34	コミックマーケットのように作品を展示・販売できるとよい。気軽に活動できる場所として市民センターなどでのイベントがあるとよい。そこからコミュニティを作って活動したり、交流が生まれるのではないかな。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
35	人が来る場所にするためには一部商業利用を実施することも考えてはどうか。お弁当の	いただいたご意見につきましては、施策の方向

	販売スペース（地元業者の出店）、市民の作品をバザーのように販売、地域の人が講師の教室を体験料金で実施、南市民センターに南町田グランベリーパークのまちライブラリーに出張してもらう等。	性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
36	午後の時間が長いので 13 時～15 時、15 時～17 時と 2 つに分けると、会場がとりやすくなるのではないかと。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
37	コロナが収束したら、季節の寄せ植えや調理、その他ワークショップ等を市の方で主催してもらえたら、いろんな方との交流が広がり楽しめる。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員

		会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
38	今後の更なる高齢化に備え、健康で長生きできるように（例）ワンコインで0.5H～1Hヨガが行えるプログラムを整備すれば利用者は大幅に増えていくのではないかと期待している。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
39	時間単位に区切ってより安価に利用できるようにしてほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
40	小規模な喫茶店のような軽い飲食が出来るスペースがあると若い人の活用等が増えるのではないかと期待している。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」

	く、民間の活用で出来ると子供から老人までコミュニケーションが取れる楽しい施設になると思う。	を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
41	コロナ禍の中では、市民センターまつりや文化祭などの催し物を企画、開催することは難しいが、収束した際には、民間団体などと連携して、高齢者の方をターゲットにした企画(体操、歌、小物作り 等)、幼児とその親をターゲットにした企画(親子体操、手遊び、音楽鑑賞 等)などが、市民センターでできれば、足を運んでももらえるきっかけになるのではないか。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
42	町田の名産品を売る場所や野菜の直売所等を設けることで、利益を得るだけでなく、市民の憩いの場として利用できないだろうか。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいり

		ます。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
43	魅力向上と地域拠点としての利用について提案させて頂きたい。現在の市民センター等では、証明書発行のために行くことが多い。他の理由で行く時は地域のお祭りなどが開催された時だった。小・中学生の時に地域の小・中・高等学校と一緒にダンスの披露などを行った。このような地域の学校やサークルなどが発表する場を作り、屋台などがあるお祭りがあると地域で楽しめて、みんなの楽しみになるのではないか。その際に地域サークルを市が支援し発表している姿を若年層が見ることで周知度が上がり体験したい人が増え、地域サークルの拠点を市民センターにすることで若い人が市民センターを利用する率が上がる。若い人は地域サークルに所属することで普段話す機会の無い方々とコミュニケーションを取ることができる。また若い人は昼間は学校や仕事のため、サークルなどで利用するのは夜間になり、市民センターの夜間の利用率も上がるのではないか。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
44	カードゲームやボードゲームなどが出来るスペースを作り、ボードゲームの貸し出しを行うことで放課後、子どもが雨でも遊べる場所を作る。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、

		今後の検討の参考とさせていただきます。
45	利用者数を増やすことが大きな課題だと考え、解決策として習い事教室を開くということを提案する。 1 つめが高齢者層に向けたスマホ教室。高齢者のスマホ所有率が、あるサイトでは高齢者 1,000 人を対象にしたアンケートでスマホ所有率が 77%と高い所有率であること、別のサイトでは1,000人を対象にしたアンケートでスマホを利用して難しいと感じたことがあると答えた人が 73.7%と高い割合であることから、このスマホ教室を提案する。 2 つ目は語学教室。民間の語学教室が高い理由として場所代が高いということが挙げられているので、市民センターが連携をしたら、安い価格で、実践的な英会話などを提供できたらと考える。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
46	施設使用ルールの見直し (P23) に関連して、優先予約の施設利用申請及び減免申請手続きを、1 年間 12 回の申請を各 1 枚の申請用紙記入で行えるように改善することを望む。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
47	カフェと図書館を一緒にして市民センターの利用者数を増やす。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えてお

		ります。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
48	忠生市民センターには何度か訪れているが、窓口は色々な手続きが行われており、各部屋はミーティングとして利用されていることが多いと思った。若者の利用率も低いと思うので、各部屋の利用方法を会議としてだけ使うのではなく、パーティールームやシアタールームにしてしまうのも良いのでは。誰もが行きたいと思われるような市民センターにできたらすごいと思う。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性『①多彩な「楽しみ」を創出』の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

(3) 「地域・コミュニティ」への支援をチェンジに関するご意見 (15件)

No.	ご意見	市の考え方
49	楽器練習を考慮した施設の拡充を検討してほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町

		田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
50	忠生市民センターのホールについて非常に予約が取りにくく抽選でも当たらない事が多い（他の市民センターでも同じ）。あまり活用（利用）されていない部屋があればサブホールに転用して多くの団体が利用できるようにして欲しい。コスト面でも良いのではないか。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
51	公は庶民が納める税を使って活動している以上、庶民サービスはできる限り平等・公平でなければならない。文面中に「公共施設の設置はできるだけ公共交通機関の整った場所に」という記述があるが、それはもっともな事としてもその代替策も考えておくべきであろう。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の取り組み課題であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
52	南、鶴川、忠生、堺の4市民センターは、施	いただいたご意見につ

	設更新等の際地元要望等を踏まえ、支所機能に加えホールや会議室などのコミュニティ関連施設、一部には図書館等も併設されており、現状でも複合施設となっている。市民センターについては、成瀬、小山を含め今後不足すると思われる機能を付加するなど、更に充実した施設となることを望む。	きましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
53	つくし野コミュニティーセンターに関し、提案する。2019年度に農事センター跡地での自治会館建設案が成立しなかったが、つくし野地域全体における、地域が有効に使える場所の確保が課題となっている。農事センター跡地では駅からも遠く、利用者も限定されるのでは、との懸念もあり建設は実現しなかったが、駅前に自治会館を作ることができれば、地域全体の住民からの価値も高まると思う。現在、自治会活動、住民間の多世代交流、文化催事、高齢者が気軽に集まって楽しむ場所が少なく、町全体の活性化も進まない状況に感じる。現在のつくし野コミュニティーセンターは公共的な位置づけで活動できているが、つくし野以外の市民にも利用されているので、もっと気軽に使える、地域に根差した交流の場が必要である。駅前の広場も含めコミュニティーセンターに併設する形でつくし野地域の自治会館の設置、あるいはセンターを拡張した上で、地域住民が使いやすい環境や仕組みを計画することについて是非ご検討いただけないだろうか。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。
54	私の地元には地区センターがあるがログハウスのように子供が遊べる所もあり、小学校	いただいたご意見につきましては、施策の方向

	一年生の時には遠足で地区センターに行っていた。町田市は子育て世代が住みやすい場所であるという声を聞いたので、子供が遊べるような部分があったらより一層子育て世代が集まるのではないか。公園で遊ぶことは出来るが雨の日は厳しい為、雨天時でも利用可能であれば嬉しいと思う。	性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
55	若い人が認知できる使いやすい場所にするために申込方法の簡素化や時間の分け方を変更する、またフットサルやダンスなどをやれる所を作って利用してもらうよう考えてほしい。老朽化しているが出来るだけ長く使い、その間に新しく1ヶ所づつゆっくり作ってほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
56	施設やセンター等の使い易さ、交通の便、駅からのアクセスの簡単さ、又は駐車場等の配慮が望まれる。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員

		会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
57	・第2章においては、和室利用度が少ないと表記してありましたが堺市民センターにおいてはその様なことはないと思う。 ・和室は日本人の文化を育む為にも必要ではないか。 ・堺地区は細長い為複合化はありえない。 ・堺市民センターを利用にあたって要望する。 ・集会施設利用一団体一車両高齢者に第一駐車場を利用させてほしい。 ・現在駐車場に隣接の空き地を駐車場に要望する。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
58	三輪コミュニティセンターを利用している。近隣住民同士の繋がり強化が急務と言われる中、このような場はたいへん有効かつ必要な施設である。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の取り組みの課題であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
59	車が無くても気軽に足を運べる立地状況を整える事が、幅広い世代の利用につながる	いただいたご意見につきましては、施策の方向

	のではないか。	性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
60	近くにあるから利用できる。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
61	幅広い年齢層の人たちが使いやすくするために立地条件や交通の便なども大切。地域によっては循環バスなども必要。建物自体はそんなに立派なものでもみんなが行きやすく、使いやすく役立つ施設を望む。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員

		会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
62	市民センターはある程度利用しやすい地域に設置すること。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
63	幅広い世代の市民にとって気軽に立ち寄れて多様な利用が可能な施設とは、自宅から徒歩で行ける程度の距離が望ましい。また施設の集約には賛成できない。市民センターは交流できる場として維持してほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②地域拠点としての活用推進」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

(4)「コスト・民間協働」をチェンジに関するご意見 (34件)

No.	ご意見	市の考え方
64	学校等の空き部屋も利用できるとよい。	学校施設の複合化や多機能化につきましては、2021年5月に策定予定の「(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画」を踏まえ、教育委員会等と連携して実施していく必要があると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
65	各施設の老朽化は市民にとっても気掛りである。人件費削減することを考えると、市民が自立して施設等利用出来るように考えていかなければならない。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の取り組み課題であると考えております。 取り組みにあたっては市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでいくことが重要であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
66	子どもセンターと市民センター等公共施設の受付けを一緒にする等考えられることは	いただいたご意見につきましては、施策の方向

	沢山ある。まずは市民のためにを念頭において、改革して頂きたい。	性「③他の公共施設・民間施設の活用」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
67	市民や地域との連携→「民間人の善意に頼ってお金をかけずに手弁当で運営してもらおう」としているとうに感じられることが多く、それでは担い手は育たない。ボランティア精神にすぎただけでは、ごく限られた人しか協力しない。ボランティアを無償でできる余裕のある人は少数であり、市民との連携にも謝礼がともなわなければならないよう望む。 民間や市民の力を求めていることをもっと地域に伝える必要がある。地域に繋がることを知らない人達に関心と気づきを寄せてもらえるように工夫が必要である。新しい人材が加わることでさまざまなアイデアが生まれると思う。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の取り組み課題であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
68	コロナ禍で地域コミュニティの拡充が難しいかと思うが、団体、個人を問わず日々の活動等の映像や写真等をインターネットで配信してもらえると励みになる。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②情報発信の強化」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員

		会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
69	学校施設の活用等が重要と記載しているが学校は子供達の学びの施設であり静かな環境を提供すべきと考える。子供達が落ち着いて学べる場を提供すべき。学校施設の利用は反対。	学校施設の複合化や多機能化につきましては、 2021 年 5 月 に策定予定の「(仮称) 町田市新たな学校づくり推進計画」を踏まえ、教育委員会等と連携して実施していく必要があると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
70	商業施設等の民間施設へ参入すると、商業主義に走り地域で活用し易い施設から離れて行くと予想される。施設を民間業者に一部貸す（テナントを入れる）方法にすれば良い。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③他の公共施設・民間施設の活用」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
71	夜間利用率を向上させるには地域の学生達に利用を呼びかけたらよい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②情報発信の強化」の具体的な取り組みで

		あると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 なお、市民センター及びコミュニティセンターにつきましては、2020年4月から夜間時間帯に限り学割料金（半額）でご利用いただけるよう、規則の改正を行いました。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
72	空きビルや空家を利用するというのはどうか。どんな問題点があるかはわからないが集まる場所が必要。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③他の公共施設・民間施設の活用」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
73	民間委託は仕事のずさんさや責任の所在問題等が存在する。また必ずしも安上がりとは限らない。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の取り組み課題で

		あると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
74	市民センター等の管理運営方法の見直しを行い、指定管理者や民間事業者への委託等を行うことを使用ルールの変更とセットで行おうという素案だが、これにより、イベント開催時の入場料や参加料の徴収が常態化することが懸念される。公益性をいかに確保していくかが課題になる。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の取り組み課題であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
75	「学校施設の利用」が素案に示されており、児童・生徒等との関係から極めて難しいと思うが、今後の検討に期待する。	学校施設の複合化や多機能化につきましては、2021 年 5 月に策定予定の「(仮称) 町田市新たな学校づくり推進計画」を踏まえ、教育委員会等と連携して実施していく必要があると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。

76	利用料が安いから利用できる。民営化はたとえ魅力があっても儲けにつながるもので利用料が高くなるので反対。高いお金を払い夢のようなものを作られても利用できる人は限られるので反対。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の取り組み課題であると考えております。具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
77	鶴川市民センターまっりの開催を通して感じたのは、せっかくある設備や機能を使いきれていなくてもったいないなという事。音響機器や照明機器、展示パネルもそうだが、普段は使う事の少ない備品の使い方やその機能、破損の有無などを改めて確認しておく事も必要。沢山の方に存在を知ってほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②情報発信の強化」の取り組み課題であると考えております。具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
78	少子高齢化・財政難という問題がますます厳しくなる今後は施設の共有やフレキシブルな使用が必要になってくる。例えば図書館などは学校内に作り、生徒と地域のひとたちで共有するとか、施設の各部屋なども様々なニーズにこたえられるよう、広さなど2部屋続けても使用できるようにするなど…。	学校施設の複合化や多機能化につきましては、2021年5月に策定予定の「(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画」を踏まえ、教育委員会等と連携して実施していく必要があると考えております。 いただいたご意見につ

		きましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
79	めざすべき将来像と施策の柱は、納得できる。しかし、取り組みの方向性1、2、3については、柔軟性をもって充実するので良いが、4. の<「コスト・民間協働」をチェンジ。市民、団体、事業者が連携>という部分については納得できない。1、2、3を実現させるには、市がしっかりかかわっていくことが重要なのに、それらを実現させるための手段として、管理運営を効率的・効果的な管理に向けた管理運営手法の見直しをする（指定管理に出すなど）というのでは、市が責任をもって1、2、3を実現させることにならない。	施策の方向性「①管理運営手法の見直し」につきましては、市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでいくことが重要であると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
80	市民センターの魅力が向上して、地域拠点として活用されることは結構である。児童の減少に合わせて、学校施設など他の公共施設が利用できるのは結構である。民間施設の活用については、市が利用料の一部を負担するなどして、市の施設と同じ程度の負担で利用できるようにしてほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③他の公共施設・民間施設の活用」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
81	民間の団体や事業者へ管理運営をまかす場合、ある程度のルール（利用料金の最高金額等）決めておく必要がある。	施設の利用料金の上限につきましては、施設毎の金額を条例であらかじめ定めることとなっております。 ご意見につきましては、

		今後の検討の参考とさせていただきます。
82	コンビニなどは狭いセンターには設けることができない。そのためコンビニを新たに作ることなく、既存の多目的室をオフィスとして使用してもらえるように民間と提携してみてもどうか。また、利用者が少ない部屋や利益を得られていない部屋も民間企業に貸し出してみてもどうか。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
83	学校に簡単な行政手続きが出来る窓口を置くことで今ある市民センターと同じ機能を持つことができ、尚かつ徒歩で行ける範囲に行政窓口があり、高齢者にも優しい街になる。そして市民センターを1つにして神奈川県大和市の「大和市文化創造拠点シリウス」のような施設を作れば町田が活性化する。	学校施設の複合化や多機能化につきましては、2021年5月に策定予定の「(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画」を踏まえ、教育委員会等と連携して実施していく必要があると考えております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
84	ショッピング施設等に窓口を置くことにより行政手続きをした後に買い物ができて経済もまわせる。またショッピング施設等は交通の便でもいい場所にある。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③他の公共施設・民間施設の活用」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みにつ

		いては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
85	どのように施設を利用して良いのか分からない人や、市民センターの役割やあり方を知らない人もたくさんいると思う。市民センターの広報活動から始めるべき。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「②情報発信の強化」での取り組み内容と考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
86	指定管理者制度などの導入により民間企業独自の柔軟な発想、経営で若い年齢層の認知度、集客の増加を目指せるのではないか。これから生産人口の減少に伴い税収も低下していく町田市にとって経費の削減は大事な取り組みである。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の具体的な取り組み課題であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

		す。
87	「民間の団体や市民センター等の運営管理の導入を検討します。」に反対。主旨) 私たち市民は、実際生活に即する文化的教養をはじめ読書やスポーツを含む「学び」が必要不可欠。 社会教育施設などは行政（公共団体）の重要な責務である。特に、図書館などは営利の視点から運営されるべきではない。指定管理者制度の導入は経費の削減が主目的であり、図書・資料の削減と職員数の削減に行きつくことから市民利用者へのサービス提供という本質を脅かすことになる。特に図書館サービスについては図書館専門職としての資質能力が必要であり、こうした専門性を有する職員の育成と確保がサービス向上にとって不可欠である。	施策の方向性「①管理運営手法の見直し」につきましては、市民、団体、事業者と行政が協働し、それぞれの得意分野を活かした魅力的な運営や効率的な管理を行う必要があると考えております。 いただいたご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきますとともに、関係部署に周知関係部署と共有いたします。
88	地元町内会や高齢者支援センターなどとの一層の連携・協働を重視されることを望む。 素案では「市民、団体、事業者と市が協働で（中略）魅力的な運営や効率的な管理」「指定管理者制度等の導入検討」とある。とはいえ、従来のこうした取り組みの多くは、コストカットと営利主義の追求に終始して、結果として利用者のニーズの切り捨て、働く者の待遇悪化につながったケースがまま見られた。こうした結果とならないように、利用者、町内会等の参加確保に十分配慮されることを望む。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の取り組み課題であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
89	学校施設が、子どもたちの教育の場であることは論を待たないが、他方で社会から切り離された教育は有りえない。共働き家庭が増える中で、放課後の子供たちの安全や安心の確保、高齢者も含めた地域住民の多様な交流が今後ますます必要とされる。こうしたニーズ	学校施設の複合化や多機能化につきましては、2021 年 5 月に策定予定の「(仮称) 町田市新たな学校づくり推進計画」を踏まえ、教育委員会等と

	を取り入れた複合化・多機能化施設は、地域の活性化と新しいコミュニティづくりに欠かすことができない。	連携して実施していく必要があると考えております。 いただいたご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署に周知関係部署と共有いたします。
90	民間に移行すれば利潤を考えて利用料が高くなることはわかりきっている。民間移行には反対。民間移行してサービスにお金をつけられ高くなることは望んでいない。施設の維持にお金がかかることは当たりまえ。町田市は大型開発や野津田サッカー場などではなく、市民に寄り添い、大事にすることにお金をかけてほしい。	施策の方向性「①管理運営手法の見直し」につきましては、市民、団体、事業者の皆様と行政が協働し、それぞれの得意分野を活かした魅力的な運営や効率的な管理を行う必要があると必要であると考えております。 いただいたご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署に周知関係部署と共有いたします。
91	市民センターは、自然災害が起こった時に地域の緊急避難先にもなっており、職員がいてこそサポートの中心となって動いてもらえる。これが指定管理者では、業務の範囲ではないとして、十分に動いてもらえないことも考えられる。行政窓口の職員は減らしても、相談窓口職員を配するなどして、全体としては一定の職員を配しておいてほしい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の取り組み課題であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見の内容につきましては、今後の検討の参

		考とさせていただきます。
92	つくし野コミュニティセンターを自治会館としてほしい。つくし野地区には自治会館がなく、住民が気軽に集える場がない。つくし野コミュニティセンターがあるが予約が午前、午後、夜間という区切りで使い勝手が良くない。行政の出先という性格もないので自治会館としたらどうだろうか。他の地区（小川、南つくし野）に自治会館があることもあり住民の中には自治会館が欲しいという声は根強い。自治会館を実現する一番の近道がつくし野コミュニティセンターの全部又は一部を自治会に払い下げ、自治会館として利用させることだと考える。自治会にはふれあい基金が約一億円あるが、永年使い道に困っているという現実もある。この資金も使えるので建物の全部又は一部を自治会が買い取るというのは現実性があると考え。非自治会部分の管理。運営も自治会に委託し、市の負担を減らすことも期待できるのではないか。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。
93	成瀬コミュニティセンターとなるせ駅前市民センターは他の地区と比べて近くに存在しており、維持費のことなどを考え、成瀬コミュニティセンターになるせ駅前市民センターを合併させるのがよいのではいか。なるせ駅前市民センターの建物はそのまま残し、売却して買い取ってもらうことで、解体費用はかからず、修繕費用などだけで済み、解体するための費用よりも経費を削減することが可能ではないか。または土地と建物を貸し出すという形も取れる。貸し出す場合は動物を扱うカフェ等を作ったら面白いのでは。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③他の公共施設・民間施設の活用」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と

		共有いたします。
94	市民センターやコミュニティセンターが 13ヶ所あり、中には間隔の近い施設ものもあるため、併合という形をとり、商業施設を建てることで地域の活性化につながると考える。家の近くに商業施設が出来ることで買い物が便利になり特に小さな子どもを育てている人や足腰が弱いく遠出が難しくなった人の暮らしやすさに繋がるのではないかな。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③他の公共施設・民間施設の活用」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
95	直線距離約 1.5 k m 上になるせ駅前市民センター、1.6 k m 上に南市民センターがあることからつくし野コミュニティセンターを取り壊したとしても利便性が損なわれることはない。現在つくし野コミュニティセンターは 39 年目であり、今後運営していくにあたっての維持・管理費を考えた場合、施設を減らしていくのが妥当ではないか。解体後の土地はこちらも民間企業に貸し出すなど、市の負担を減らす。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③他の公共施設・民間施設の活用」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
96	市民窓口は少し数を少なくするのは仕方がない。相原の方から駅までという訳にはいかないので市内いくつか有ると良い。各センタ	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「③他の公共施設・民

	一の室も数を少なくすることも仕方がない。新しい建物を作ることは出来ないと思うので今ある出来るだけ良い条件の所を残すよう考えてほしい。	間施設の活用」の具体的な取り組みであると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
97	今まで同様に利用出来るような運営をお願いしたい。	いただいたご意見につきましては、施策の方向性「①管理運営手法の見直し」の取り組み課題であると考えております。 具体的な取り組みについては、今後「(仮称)町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討してまいります。 ご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

3 スケジュールに関するご意見 (0件)

該当意見なし

4 ビジョンの推進に関するご意見 (4件)

No.	ご意見	市の考え方
98	生産性や経済性を重視する新自由主義の考え方にに基づき実施されてきた保健所の整理・削減でPCR検査等口含むコロナ禍対応策で大きな支障が生じている。経済・財	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

	政上の問題を口実に合理化と称して対処してきた結果がこれである。今後の取り組みに際し、上記の現実を参考にする事を決して忘れてはならない。	
99	市民センター等を、いつでも誰でも気軽に立ち寄れ楽しく過ごせる場所とすることを目標にしており、是非このような施設にしてほしい。しかしながら、今まで市民センター等の更新時には、この目標は必ずといって良いほど掲げられていたが、現状を観ると殆どその目標は達成できてないと感じる。 各種相談に応じる場所にしたいという目標もあり、各種行事やイベント等の実施を含め、それらを総合的にコーディネートする人や団体を配置することも今後の検討に入れてほしい。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」を着実に推進するため、市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでまいります。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
100	ビジョンの推進に向けての私見を述べる。 課題 ①「行政手続きのデジタル化に伴う窓口機能の見直し」について デジタル化になじまない高齢者等に対する対面での市のサポート体制が必要。デジタル化に伴い個人情報の流出が絶対に無いような仕組み、監視体制の構築が望まれる。 課題 ②「魅力向上と地域拠点としての活用」について 町内会・自治会をもっと活用し、地域住民自ら住民のニーズを把握し、施設の管理運営も含め、イベントの実施や地域コミュニティの活性化など市民の求めに応じ、地域の活動拠点としての市民センターにすること。参画する地域住民が活躍できるよう市サイドで支援し、費用の削減、参画意識を育て住民の力を集結し、住民自身の充実感、達成感につなげることができるようにすること。 課題 ③「管理運営手法の見直し」について 町田駅周辺のアクセスが便利な生涯学習センターについて、集中的に人が集まり学	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。

	習、学び、人々が交流し楽しむ拠点となるよう整備することを提言します。比較的理想に近い施設として、ことばらんど、成瀬コミュニティセンターがある。この2施設には私が望む施設の仕組みとしてかなり近いものがある。成瀬コミュニティセンターについては子ども達が自由に遊べるスペースがあり、学生達の学び、一般の人々の交流が自由にできるスペースもあり活用されている。多目的室の利用は多くの人数で使用するときは多目的室2室を使用できる。また、会議室は2階にあり下の話し声や子どもの声も邪魔にはならない。駐車場が広く使いやすい。施設の場所が駅から遠く公共交通機関を使つてのアクセスには少し難点がある。ことばらんどは学習のための図書館、研修講習にふさわしい大会議室、イベント用のオープンスペース、小さい規模の会議室、ほっとできる喫茶店がある。場所が少し駅から遠いことが難点ではある。また、文学館としての性質上音を出すような音楽に関するスペースがないことは致し方がない。市民フォーラムにはホールその他、町田市男女平等推進センター、町田市消費生活センター、町田国際交流センター、(社福)町田市社会福祉協議会、町田ボランティア・センター、町田市町内会・自治会連合会などが有り、この施設を他の用途に広げ使用する余力は無いと思われる。もしあるとすればホールの現在の利用状況が少ない場合、他の用途に変更することも考慮できる。ホールは市民ホール、生涯学習センターホール、つくし野、成瀬コミュニティセンター、市民センター内のホールなどがあり、それぞれの稼働率を見ながら縮小、統合を図っていくのも一つの選択肢ではないか。ホールを音楽室と練習室に変更するなどすることで稼働率があがるとも	
--	---	--

	考える。生涯学習センターの音楽室は音響、防音ともに不十分である。それでも高い予約希望があり、以前から予約できる確率が低い状況が続いている。先に挙げたが、市民フォーラムのホールを音楽関係の部屋として2から3部屋に変更し、活用するなど目的に応じた編成ができればと考える。生涯学習センターは学習、会議、研修室とし、オープンスペースでは現在のように学生の学習、様々な年齢層が使用する団らんや人と交流できる場とすることが望ましい。和室は稼働率が低いということで無くし、稼働できる畳などを置くことで解決できるとかんがえる。喫茶室は稼働率が低ければ廃止し、簡単なコーヒーや紅茶、お茶が飲めるような機械の設置が考えられる。(ペットボトルの自販機も含め)簡単な飲食ができるスペースを設置し楽しいスペースとなるようにする。この方法については利用者の意見を十分に反映したものとなるよう話し合いを重ねることも必要である。 以上ですが、実際の各施設の使用率(時間、曜日、など)のデーターを明らかにし、統合、扱う内容を整理するなどを提言します。また、川崎市のように民間と協働することも視野に、そのメリットとデメリットを明らかにし、進めていくことも必要かと思えます。	
101	これからの取り組みについては、「推進委員会」が設置され2年間の検討が予定されている。この「推進委員会」は行政レベルの委員構成だと思う。この委員会の2年の検討期間の途中でも、その間を縫って地域住民の声が反映されているかどうかを市民が検証できるよう、絶えず努力を積み重ねていただきたい。	推進委員会は学識だけでなく町田市町内会・自治会連合会の代表、地域センター運営委員会等の代表などの市民委員によって構成するとともに、検討内容を町田市ホームページに公開するなど積極的な情報発

		信に努めます。また、各施策の取り組みに当たっては、地域ワークショップを開催する等、市民、団体、事業者の皆様と行政が協働しながら各事業に取り組んでまいります。
--	--	--

5 その他のご意見 (54件)

(1) 市政に関するご意見 (20件)

No.	ご意見	市の考え方
102	町田の基本計画「まちだ未来づくりプラン」のもとにこの「市民センタービジョン」の素案が出されているが、基本計画に対する（市民センター）の位置づけがあまりに弱いのではないかと？基本計画のホームページを見ると、地域社会づくりプロジェクトにかかる事業概算は町田駅周辺プロジェクトのその約3分の1強、団地再生に向けたプロジェクトは町田周辺の100分の1にも満たない勘定である。圧倒的には、市民の居住地は駅周辺ではない。税金を払っている市民の利益、住みやすさをもとに考えていくべき。	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
103	町田市民がアクセスしやすい町田駅周辺に学びの場を多くし各会議室内などにWi-Fi設置をしてほしい。また、リモートで仕事をしている方へ、家庭だけでは無く、小さなスペースで家庭内に変わり仕事ができる場の提供も必要であるため、大中小の会議室、学習室の増設をお願いしたい。また、高齢者はこれからネットを利用し学び、死ぬまで人と交流し楽しむ環境が大切である。運動する、様々なデイケアを利用するなどあるが、動ける間に地域の仲間とPC等を学びつながり、その後施設に入所、歩行困難になり外出できなくなっても	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。

	一緒に学んだ仲間とネットを通し交流することが大切ではないか。死するまでネットできることは生きていく上の大きな力となる。ネットで模擬海外旅行や日本だけでは無く海外の音楽も楽しめるようになる。そのためには、生涯学習センターを中心に町田駅周辺に学びの場、施設の会議室などの施設内で Wi-Fi が使用できることが絶対に必要である。個々が元気なときに学び、その後の生活を豊かにできるようにしていただきたい。是非学びの場、学習室、会議室の増設と Wi-Fi 設置、音楽室練習室、調理室の充実を求める。	
104	町田市ホームページがわかりにくい。緊急対応表示も対応が遅い。地域情報・観光などは町田市MAPを作りそこから入るのが良い 市役所の職員が多いため、AI等を活用して市職員ゼロを目指して欲しい。オンライン教育、指導を推進して欲しい。	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただくとともに、関係部署と共有いたします。
105	歩きたばこの禁止徹底を要望する。	市民センター、コミュニティセンターにつきましては、「健康増進法の一部を改正する法律(平成30年法律第78号)」の施行に伴い、2019年7月1日から敷地内禁煙としております。 また、「町田市あきかん・吸い殻等の散乱防止等に関する条例」に基づき、歩きたばこをしないようホームページ等で啓発を続けていきます。
106	住みやすい、町づくり、よろしく願います。子育てや年配者にやさしい町！	「(仮称)市民センター等の未来ビジョン」は市

		民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただき、関係部署と共有いたします。
107	町田市洪水ハザードマップが改訂され、浸水予想区域から外れた。心配ないということだろうが、大雨の時は気にかけてほしい。	いただいたご意見につきましては、関係部署と共有いたします。
108	単に財政がひっ迫するから施設を縮小するのではなく、市民の生活に必要な身近な施設を拡充することが魅力的な住環境を生み、人々を惹きつけ、町田市に転入してくるのではないか。 町田に引っ越してこようと思うのは、図書館や市民センター、子どもセンター、幼保育園、小学校など、家族のそれぞれが必要とする施設が充実していて近くにあることである。	ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただき、関係部署と共有いたします。
109	機能を市役所に一本化するよりも、地域の事情を分かる市民センターが、それぞれの地域で、介護や医療、保育などのワンストップサービスができるような施設となると理想的。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただき、関係部署と共有いたします。
110	市民センターを公民館の分室として利用することを提案する。近くの市民センターに子どもを保育室に預け、学習したり話し合っ て仲間をつくる。そこに社会教育主事の資格を持つ公民館職員がいて的確なアドバ	ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

	イスを受けられたら子育ても楽しいものになる。また、駅前の中央公民館まで行くのがおっくうになった高齢者（私自身のこと75才）、障がいを持った人も行きやすく身近なところで仲間づくりが出来る。	
111	ただ詰め込むという方法だとそれぞれの部所の機能が希薄になる心配がある。ある程度の専門性、特殊性も考える必要がある。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただき、関係部署と共有いたします。
112	・集会施設で婚活することで晩婚化を防ぎ、少子化対策も見込め、財源の確保も期待できる。 ・老朽化対策としては地域ごとに建物をグルーピングし 5 年 10 年単位で改築もしくは取り壊すことで支出を一定させる、もしくは建物をそのまま売って一時的な財源の確保をするか市民センターの部分的な土地を委託し利益を安定させる。 ・窓口の利用の仕方としてマイナースポーツの発信源にする。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただき、関係部署と共有いたします。
113	人口増加する地域と人口減少する地域の推移があるため、年齢層のバランスを保てるように幼老複合施設を建設すべき。	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただき、関係部署と共有いたします。
114	他の地域の人がまた行きたいという気持ちになるように、市民センターに来る理由やメリットが欲しい。大和市ではプレミアム商品券というものがあり、とても便利だった。町田市にもそういった地域で行っているところが見たい。	いただいたご意見につきましては、関係部署と共有いたします。

115	・せりがや会館の空調を直してほしい。 ・図書館を民間委託にしないほしい。さるびあ図書館と鶴川駅前図書館が民間委託になると聞いた。よくレファレンスコーナーを利用しているが、民間委託されるとこれらのサービスがなくなったり図書館同士の資料のやり取り等のサービスがどこまで行えるのか疑問。 ・町田市に 1000 人規模のホールを作してほしい。町田市には 1000 人を収容できるホールがなく、大きなコンサートなどは相模原市や川崎市に行かなければ鑑賞できない。因みに近隣の座間市、海老名市、厚木市にも 1000 人以上を収容出来るホールがあり、座間市では教育委員会と連動していて教育的なイベントなら、無料で借りることができる。是非町田市に大ホールと小ホールを備えた文化施設を作してほしい。将来を担うこどもたちのために、また高齢者の学びの発表の場としてスポーツ施設の次は大型文化施設の建設を強く要望する。	いただいたご意見につきましては、関係部署と共有いたします。
116	中央公民館は他の施設より施設使用料が高いと思う。	いただいたご意見につきましては、関係部署と共有いたします。
117	関係書類の(枚数)多さ(毎回同じような内容)、通信用葉書、一案件に対する会合の多さを見直してほしい。	ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
118	コロナ禍の中、仕事を失ったり、収入が少なくなったり、困っている人がたくさんいる。町田市の行政をみていると健保料は高いし、保育園給食費の補助はなし、その他いろいろ弱者に思いやりが感じられない。もっと文化と生活を大事にする市政にしてほしい。	いただいたご意見の内容につきましては、今後の検討の参考とさせていただきますとともに、関係部署と共有いたします。
119	地域の伝統行事の記録と継承をしてほしい。災害時の防災拠点としてのリーダーの育成と活動の支援をしてほしい。	いただいたご意見につきましては、関係部署と共有いたします。

120	木曽山崎センター周辺は図書館、スーパー、商店街、郵便局、銀行（昨年窓口閉鎖）などが集中して使い勝手が良い。この状態を残してほしい。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
121	長期が見込まれるコロナ禍の中、大きな変容があるであろう期間の計画を考えると。仕事がなくなったり、低賃金、病気等で苦しんでいる人がいる中で一人も落ちこぼさない地方行政にしてほしい。税金の使い道を大きく変えてほしい。人口も減る中でモノレールやリニア新幹線関係や大型開発にたくさん使うのではなく、地域住民の福祉向上、日常生活が安心して暮らせる方向でお金を使ってほしい。市民センターなど公共施設の予算にこそたくさん割り当ててほしい。	ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

(2) 施設の再編（集約・廃止・維持）に関するご意見 (12件)

No.	ご意見	市の考え方
122	ホールで体力維持と健康のためにスポーツダンスを楽しんでいるが、おどりやすい床と音響効果抜群の設備に感謝している。対応して下さるスタッフの方も丁寧で優しく親切である。今後ともこういう場を提供していただきたい。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
123	コミュニティセンターについては、利用率や利用形態から再配置(集約化)の検討を進めて良いのでは。再配置の検討にあたって	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

	は、市民部の所管する施設だけではなく、一般開放可能な会議室等を併設している施設を所管する部署を含め、町田市全体を見て再配置を検討すべき。 高齢者福祉計画や介護保険事業計画では、地域活動への参力日促進と生きがいの場のため、通いの場をつくることを推奨しており、コミュニティセンターが現状で「通いの場」となっていることから、総量の極端な圧縮は避けていただきたい。	き、関係部署と共有いたします。
124	現在、忠生市民センターをよく利用させてもらっている。働いてられる皆様の対応が親切で地域住民の多くの生きがいの場になっている。こういうところを税金でしっかり増やしていく方向で考えてほしい。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
125	今後こういう場所が使用できなくならないよう希望する。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
126	忠生市民センターでの卓球。なにより皆が元気になる。続けていきたいのでよろしく願いたい。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討

		の参考とさせていただきます。
127	検討事項の 1 つに「利用料金を値上げして可能な限り継続して現状を維持できないか」という観点を加味してほしい。廃止や圧縮を論じるより先に利用料値上げによる維持継続のご議論があってもよいのではないか。	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
128	費用が問題の場合、料金体系の見直しなどは仕方がないことと思う。夜間の時間の短縮なども含め、見直しを計っていただき、今後も継続して利用させていただきたい。	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
129	現状のままで良い。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
130	貸室機能は、市民の社会活動や趣味活動をサポートする大事な場所である。現在、指定管理者が運営しているポプリホールや市民ホールは、日常的な市民活動に使うには使用料が高額すぎて市民にとっては使いにくくなっているため、市民センターなどの貸室は減らさないで頂きたい。	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
131	木曽・山崎地域では、コミュニティセンターは欠くべからざる存在である。いざという時に避難すべき場所がなくなるばかりか、安心してコミュニティの集える場所もなくなるということは、まち全体を消してしまうといっても過言ではない。 幸いにも、この地域は東京都、UR など公共が管理する地域であり、市民が安心して居住できる住宅が確保されている。まち	いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

	づくりにおいても、行政との関係は団地創生から現在に至るまで一貫して協力関係ができています。この好関係を大切に保ち続けていくことを希望する。	
132	忠生市民センターは駐車場も完備していて大変有り難い。これからますます高齢化が進む中で、安定した場所が有ることは精神の安定にも役立っている。教室が始まって、サークル活動が 30 年が過ぎました。毎月家族のような仲間と顔を合わせるのが楽しみです。お蔭様でそろって高齢になってまいりましたが皆元気で活動しております。このまま使わせて頂けるようお願いいたします。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
133	私達の子供が幼稚園の頃、世の中は空前のジャズダンスブームで 30 代前半の私達は習いたくても小さい子供がいてダンス教室に行くのは無理でした。そこでお母さん達と相談して小川幼稚園の園長先生（その頃市議会議員をしてらっしゃいました。）に園のホールを無料でお借り出来ました。（本当に今でも感謝しております）代替わりをしても今だに無料で貸してくださっていて感謝にたえません。会費を集めて先生を御呼びしてから 40 年、私達はほとんど 70 才になりましたが元気にダンスを続けています。30 代から始めたからこそ今でもそれなりですが動けるのだと思います。おかあさん達が子供がいても体を動かす場所がありそれが芸術的な物と連動して長く続けられる環境がある事それはこれから子育てをしていく人達にとってとても幸福なことだと思います。発表会（年一回）に向けて広い場所が必要な時はよく市民センターのホールを貸していただいております。私達はダンスを通して人生何倍も楽しめています。そんな環境が市の皆さまに与えられる。ある程度動ける広い場所が用意していただける	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

	事をせつに御願ひ致します。ダンスと言うとチャラチャラしたうわつた物という先入観がありますが、筋肉の使い方、呼吸の仕方、音楽のかかわり方等これから長寿の時代を健やかに過ごす知恵がいっぱい詰まっています。是非もっと皆様の中に広まってゆくご協力をよろしくお願い致します。	
--	--	--

(3) 使用料に関するご意見 (2件)

No.	ご意見	市の考え方
134	皆の意見として会場費が高いことが困る。 (他の会場に比べて値上がりもすごかったし、考えてほしい。)	施設使用料につきましては、「受益者負担の適正化に関する基本方針」に基づき、市民の皆様にご負担をお願いしております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
135	現行の料金は適当な範囲のものとする。大幅な値上がりは避けていただきたい。	施設使用料につきましては、「受益者負担の適正化に関する基本方針」に基づき、市民の皆様にご負担をお願いしております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

(4) 利用に関するご意見 (1件)

No.	ご意見	市の考え方
136	町田市内在住者の施設優先利用を可能として頂きたい。体育協会登録団体の優先利用を考慮願いたい。	ご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。

(5) 設備に関する要望 (10件)

No.	ご意見	市の考え方
137	姿見鏡を設置してほしい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。
138	地域にセンターがあり、とても助かっている。 踊りをしているので姿見（三面鏡）があるとよい。CD ラジカセが欲しい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。
139	健康マージャンにご理解を。健康マージャンは、高齢社会にになった我が国にとって必要不可欠なものとなり、知的で健康的なコミュニケーションツールとして再認識されてきた。マージャン卓の保管場所を調整してほしい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。
140	卓球ネットをメンテナンスして下さい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。
141	女性の更衣室使用しやすい様にして下さい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。
142	女子トイレのフックが1ヶ所折れているので直して下さい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。
143	忠生市民センターで活動している。室温の設定について、作業中は体温が上昇するので低めに設定し、休憩中は高めに設定をしたいが、その都度管理室に行かないといけない。部屋で室温調整ができるようにしてほしい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。
144	床をきれいにしてほしい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。
145	トランポリン（運動用具）を設置してほしい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。
146	③多目的室には可動式の鏡を必ずつけるようにしてほしい。	ご要望として承り、各施設にて検討いたします。

(6) その他のご意見 (9件)

No.	ご意見	市の考え方
147	利用方法もネットでよく理解できてとても便利です。	「(仮称) 市民センター等の未来ビジョン」は市民センター等が「便

		利で楽しい地域の拠点」となることを目指しております。 いただいたご意見につきましては、今後の検討の参考とさせていただきます。
148	管理人の皆様、丁寧、親切、フレンドリーでとても良い。	引き続きサービスの維持、向上に努めます。
149	新型コロナ感染拡大という非常事態の中で、市民センターも対策を徹底しており、問題なく活動できたことに感謝している。また、いつもきれいに掃除され感謝している。	引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底すると共に、サービスの維持、向上に努めます。
150	社交ダンスで忠生ホールを使っている。非常に手入れが行き届いていて満足している。	引き続きサービスの維持、向上に努めます。
151	忠生市民センターの職員の皆とても明るい対応・親切である。建物も明るく綺麗で嬉しい。	引き続きサービスの維持、向上に努めます。
152	とてもきれいで使いやすく助かっている。いつも場所を提供していただきありがとうございます。	引き続きサービスの維持、向上に努めます。
153	コーラスの練習場所として、鶴川市民センターなどの音楽室やホールを利用させて頂いています。ピアノの設備がある場所というのはそんなに多くありませんので、リーズナブルな使用料金でお借りできる事は大変ありがたく、とても助かっています。又、「鶴川市民センターまつり」や「三輪センター文化祭」などに参加させて頂く事が、数少ない貴重な発表の場となっています。	引き続きサービスの維持、向上に努めます。
154	いつも快適な環境で利用させて頂いております。各教室の清掃も花壇などの整備もとても行き届いていて、本当に感謝しております。今後共、よろしくお願いいたします。	引き続きサービスの維持、向上に努めます。
155	木曽森野センター管理の方々はずは受付対応も大変親切で会を始める前に気持ちが	引き続きサービスの維持、向上に努めます。

	良いです。ホールに入ると、これまた床がピカピカですごい！！汚してはならないと思います。所々に生けてある花も素朴ながら季節を取り入れてあり心が和みます。このセンターを利用できる日、とても楽しみです。いつもありがとうございます！！また、よろしくお願い申し上げます。	
--	---	--

【お問い合わせ】

町田市市民部市民総務課

〒194-8520 町田市森野 2-2-22

TEL042-724-4346（直通）

第1章 計画の概要

1 計画の目的・背景

町田市の公共施設の多くは老朽化が進んでいるとともに、少子高齢化の進展等により市税収入の減少が見込まれ維持管理経費の財源確保が非常に困難な状況となるため、長期的な視点に立った公共施設のあり方の検討が急務となっています。

市民センター等（市民センター、コミュニティセンター、市民フォーラム）についても老朽化が著しく、他の公共施設と同様に今後のあり方の検討が必要となっています。行政窓口については、デジタル社会の進展やマイナンバーカードの普及等により、行政窓口へ来所することなく自宅や身近な場所でより簡単に行政手続が可能となるなど、行政サービスが大きく変化することが想定されます。

そこで、限られた財源の中で社会変化に対応し、より良い行政サービスが提供できるよう、将来を見据えた長期的な視点で市民センター等の機能のあり方について示す「（仮称）町田市市民センター等の未来ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を策定します。

2 計画期間

2021年度～2039年度

3 計画の位置付け

本計画は、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」を上位計画として策定します。なお、本計画に位置付ける施策は、「町田市公共施設再編計画」等の関連計画・施策と連携しながら取り組みます。

第2章 市民センター等の現状と課題

1 市民センター等の概観

（1）市民センター等の設置状況

町田市では、行政窓口として、市民センターを6か所、連絡所を5か所設置しています。また、集会施設として、市民センターを6か所、コミュニティセンター等を8か所設置しています。

行政窓口のうち、市民センターでは、証明書発行、登録届出・申請届出、高齢者関連、子育て関連、市税の納入、その他交通共済等の手続きを行うことができます。連絡所では、証明書発行と母子手帳の交付等の手続きを行うことができます。また、5か所の連絡所のうち、コミュニティセンター内に併設された2か所を除き、休日窓口を開設しています。

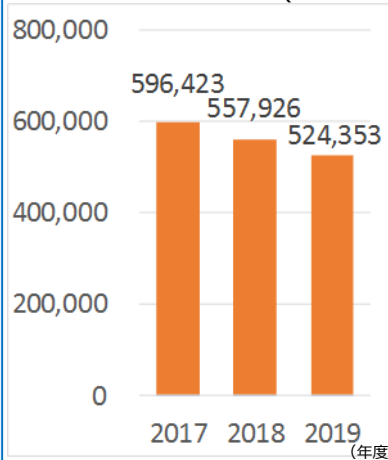
集会施設については、基本的にホール、会議室、和室を備え、さらに多目的室、音楽室、調理室等を備えている施設もあります。また、一部の市民センターでは、図書館、高齢者福祉施設等を併設しています。

（2）市民センター等の利用状況

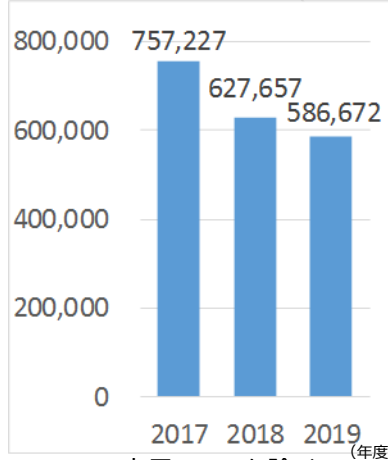
行政窓口の取扱件数では減少傾向が見られます。国は、マイナンバーカードの普及拡大について、2022年度末にほぼ全国民に行き渡ることを目指すとしており、行政手続の際に提出する証明書を省略することができる情報連携の仕組みの進展により証明書発行件数は減少傾向にあること、また町田市では、マイナンバーカードにより、全国のコンビニエンスストアで証明書を取得できるコンビニ交付を2016年1月から開始していることから、証明書発行に関連する行政窓口の取扱件数は今後さらに減少することが見込まれます。

集会施設の利用者数では減少傾向が見られます。また、諸室別・時間帯別利用率を見ると、午前・午後の利用率に対して夜間の利用率が低い状況が見られること、ホール、多目的室、会議室等の利用率が高く、料理講習室などの利用用途が限られている部屋の利用率が低いといった傾向が見られます。

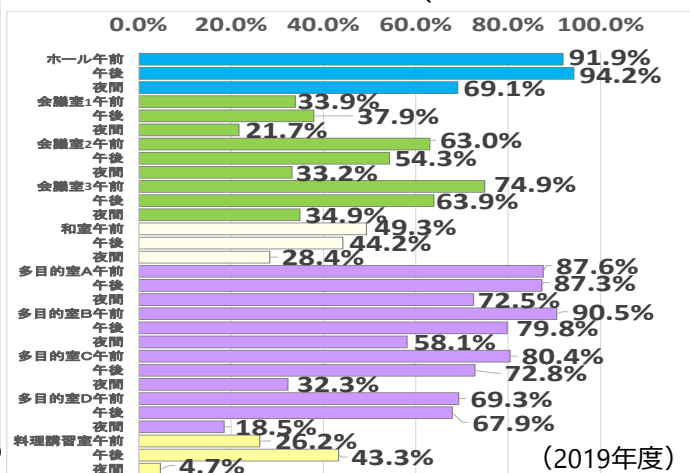
＜行政窓口利用件数(件)＞



＜集会施設利用者数(人)＞



＜忠生市民センター室別利用率(%)＞

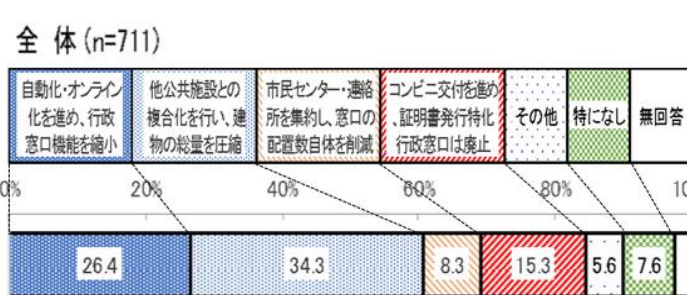


（3）市民センター等の利用ニーズ

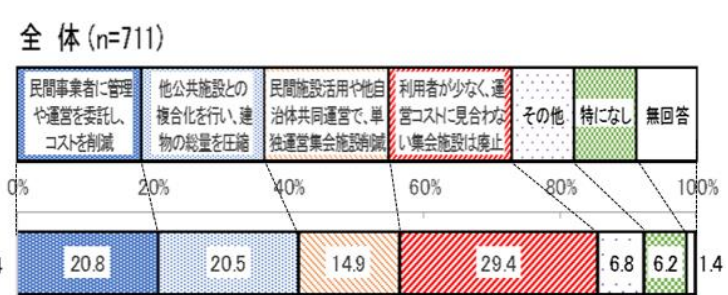
2020年2月に実施したアンケート調査（町田市内在住の15歳以上80歳未満の2,000人を対象）の結果によると、行政窓口の方向性について「他公共施設との複合化を行い、建物の総量を圧縮」（34.3%）の割合が最も高く、以下「自動化・オンライン化を進め、行政窓口機能を縮小」（26.4%）、「コンビニ交付を進め、証明書発行特化行政窓口は廃止」（15.3%）などが続く結果となりました。

集会施設の方向性については、「利用客が少なく、運営コストに見合わない集会施設は廃止」（29.4%）の割合が最も高く、以下「民間事業者に管理や運営を委託し、コストを削減」（20.8%）、「他公共施設との複合化を行い、建物の総量を圧縮」（20.5%）などが続く結果となりました。

＜アンケート調査結果（行政窓口の方向性）＞



＜アンケート調査結果（集会施設の方向性）＞



2 市民センター等を取り巻く環境の変化

（1）財政のひっ迫・施設の老朽化・維持管理費の増大

町田市が行った将来人口推計の結果に基づき、2020年以降の推移をみると、近い将来、総人口は長期にわたる減少局面に移行します。当面、人口減少と高齢化が進むことから、市民センター等に対するニーズについても変化していくものとみられます。町田市の財政は、少子高齢化を背景として社会保障関係経費の増加が続くものと予想されます。一方で、多くの公共施設の老朽化が進んできており、既存施設を維持した場合の将来の維持・更新費のシミュレーションでは、築80年まで使用すると想定した場合、これまでに公共施設にかけた年間経費の1.6倍の支出が見込まれ、施設の再編、市民サービス提供方法の見直しが必要です。

（2）施設機能毎の考え方としての施設再編

（1）のような状況を背景に、町田市では、公共施設・公共空間のより良いかたちを目指して、2018年に公共施設再編計画を策定しました。目指すものとして、「新たな価値・サービスを生み出す豊かな場」、「柔らかな絆でつながる持続可能なコミュニティ」を設定し、基本となる方向性を、「誰もが気軽に利用できる空間づくり」、「自然と交流が生まれ、利用者のアクションの連鎖を引き起こすしくみづくり」としています。

（3）行政窓口のデジタル化への対応

国は2019年5月に成立した（通称）デジタル手続法において、行政のデジタル化を推進しており、今後、マイナンバーカードの普及等により、行政窓口での証明書発行件数の大幅な減少が見込まれます。町田市においても行政窓口のデジタル技術を活用し、行政手続き等の利便性の向上と行政運営の簡素化・効率化を図ることが必要です。

（4）利便性の向上

幅広い世代の市民にとって、気軽に立ち寄れて、多様な利用が可能な施設が求められています。そのためには、公共施設の機能がそれぞれ単独に分散されて設置されているよりも、様々な用途で利用できる柔軟性の高い施設であること、公共交通機関の整った場所に設置すること、学校施設の活用等が重要と考えられます。

（5）認知度の向上

施設の認知度の向上が一つの課題として考えられます。幅広い世代にとって魅力的なサービス提供を検討するとともに、施設の機能や使い方などを、それぞれの年齢層に応じた手段によって効果的に広報していくことが必要です。

（6）市民センター等の将来的な役割の変化

行政窓口のデジタル化等が進む中、行政窓口を身近な地域でいろいろな相談ができる場へ変化させていくことが必要です。また、多世代交流や若者の活動などの実現のため、各地区ごとに拠点となる場所を設置していくことが求められます。市民センター等の将来的な役割の変化に対して、民間と協働した魅力的なサービス提供の実現や、商業施設などの民間施設への設置、地域に根差した施設である学校を利活用するといった、地域の実情・特性に応じた市民センター等の将来的な役割の変化を明確にしながら、新しいあり方を実現していくことが必要です。

第3章 目指すべき将来像と施策の柱

1 本ビジョンにおける取り組みの考え方

市民センター等を取り巻く環境は、今後ますます変化していくことが予想されます。これらの変化に柔軟に対応し、市民センター等が身近な行政窓口、地域コミュニティの拠点としてさらに変化していくためには、市民、団体、事業者と行政が連携して新しい取り組みを進めていく事が重要です。そのため本ビジョンでは、新たな時代に向けて**4つの「チェンジ」**を推進します。

2 目指す将来像と施策の柱

本ビジョンでは、「サービス・利便性」「ソフト・魅力」「地域・コミュニティ」「コスト・民間協働」という**4つ**施策の柱を設け、これらの柱に基づく取り組みにより市民センター等が、**<便利で楽しい地域の拠点>**となることを目指します。また、施策の成果を測るため、施策の柱ごとの成果指標を設定し、効果的な取り組みを進めていきます。

第4章 取り組みの方向性

1 「サービス・利便性」をチェンジ

安心・便利＋αの行政サービスを提供します！

（1）目指す姿と指標

「サービス・利便性」のチェンジにより、市民センター等で気軽に相談、いつでもどこでも手続きができる環境を実現します。

【指標：「市民満足度」】

<現状値：84.5%（2020年度）>

（2）施策の方向性

- ① 行政手続きのデジタル化の推進
 - ・マイナンバーカードの普及促進（継続）
 - ・マイナンバーカード申請の支援（継続）
 - ・キャッシュレス決済の導入（拡充）
- ② 手続きのための窓口から相談窓口への転換
 - ・証明書発行機能の見直し（新規）
 - ・行政窓口での相談・支援（継続）
- ③ 市民センター等の機能等の見直し
 - ・施設ごとの機能等の見直し（拡充）
 - ・インターネット環境の充実（拡充）

2 「ソフト・魅力」をチェンジ

毎日の生活が楽しくなる場を提供します！

（1）目指す姿と指標

「ソフト・魅力」のチェンジにより、行くことが楽しくになる市民センター等を目指します。

【指標：「施設利用者数」】

<現状値：586,672人（2019年度）>

（2）施策の方向性

- ① 多彩な「楽しみ」を創出
 - ・地域ワークショップの開催とイベント等の実施（継続）
 - ・施設使用ルールの見直し（継続）
- ② 利用団体等が実施するイベントの支援
 - ・地域センター祭り支援（継続）
- ③ <学び>の場の提供
 - ・スペースシェアリングの導入（拡充）

3 「地域・コミュニティ」への支援をチェンジ
コミュニティづくりの支援を強化します！

（1）目指す姿と指標

「地域・コミュニティ」への支援のチェンジにより、人と人がつながり、新たな交流が生まれ、地域コミュニティの拠点となる市民センター等を目指します。

【指標：「地域団体の施設利用件数」】

<現状値：36,537件（2019年度）>

（2）施策の方向性

- ① 地域のコミュニティづくりの相談や支援を行う体制の整備
 - ・相談体制の充実（継続）
- ② 地域活動の拠点としての活用推進
 - ・地域ニーズの把握と実施（継続）
- ③ 地域活動の支援
 - ・地域活動の案内・マッチング（継続）

4 「コスト・民間協働」をチェンジ

市民、団体、事業者と連携し、持続可能な施設の管理運営を実現します！

（1）目指す姿と指標

「コスト・民間協働」のチェンジにより、地域の拠点として、安全で快適な環境の整った市民センター等を目指します。

【指標：「民間協働により管理運営する施設数」】

<現状値：0施設（2020年度）>

（2）施策の方向性

- ① 管理運営手法の見直し
 - ・民間の団体や事業者による市民センター等の管理運営の導入（新規）
- ② 情報発信の強化
 - ・地域と連携した情報発信（継続）
 - ・多様なツールを活用した情報発信（継続）
- ③ 他の公共施設・民間施設の活用
 - ・学校施設等の有効活用（複合化・多機能化）（新規）

第5章 ビジョンの推進に向けて

1 ビジョンの推進について

本ビジョンを着実に推進するため、各地域センターの運営委委員会やセンター祭り実行委員会、町田市町内会・自治会連合会、地区協議会などの地域団体や地域支援団体、大学等の教育機関、民間事業者等と行政が協働しながら各事業に取り組みます。

また、これらの取り組みの円滑な推進と計画の進捗管理を行うため、「（仮称）町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」を設置するとともに、社会変化に迅速に対応するため「町田市公共施設再編計画（短期・中期・長期）」に合わせてビジョンの中間見直しを行います。

2 今後の検討の進め方（2021～2026年度）

（1）具体的な取り組みの検討

デジタル化の急進等、めまぐるしく変化する社会状況等を見据えた今後の具体的な取り組みについて、2022年度を目途に「（仮称）町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討します。

（2）検討内容

課題	具体的な検討事項	スケジュール					
		2021	2022	2023	2024	2025	2026
①手続きのための窓口から相談窓口への転換	行政手続きのデジタル化に伴い、証明書発行に特化した窓口機能の縮小や廃止と、行政窓口での相談体制の充実について検討します。	推進委員会等において検討					
②魅力向上と地域拠点としての活用	地域の実情・特性に応じた市民センター等における取り組みの実施にあたり、実施体制及び提供手段について検討します。	推進委員会等において検討					
③管理運営手法の見直し	民間の団体や事業者による市民センター等の管理運営（指定管理者制度等）の導入を検討します。	推進委員会等において検討					
④他の公共施設・民間施設の活用	地域特性や需要を踏まえた必要な機能等を考慮し、学校施設や他公共施設・民間施設の活用（複合化・多機能化）を検討します。	推進委員会等において検討					

課題 ①「手続きのための窓口から相談窓口への転換」

行政手続きは、（通称）デジタル手続き法の成立に伴うオンライン化や、マイナンバーを利用した情報連携、マイナンバーカードの普及によるコンビニエンスストアでの証明書自動交付サービスの利用増加により、行政窓口へ来所することなく自宅や身近な場所でより簡単に可能となります。今後、行政手続のデジタル化を推進すると共に、相談体制を充実するなど、行政サービスの役割についても変化させていくことが必要です。

課題 ②「魅力向上と地域拠点としての活用」

地域の実情・特性に応じた魅力的な市民センター等の実現に向け、イベント等の取り組みの実施にあたっては地域毎のニーズを把握し、市民、団体、事業者と市が連携するなど、実施体制を構築するとともに、提供環境を整えることが必要です。また、地域コミュニティの活性化などの市民の求めに応じ、地域の活動拠点として市民サービスをこれまで以上に向上させていくことが必要です。

課題 ③「管理運営手法の見直し」

現在、市が行っている市民センター等の管理運営について、社会状況の変化等に伴い、今後より一層多様化する市民ニーズに的確に対応した魅力的な運営や、効果的・効率的な管理に向けた管理運営手法の見直しが必要です。

課題 ④「他の公共施設・民間施設の活用」

市民センター等は、施設の管理費や老朽化に伴う維持補修費に多額のコストがかかっており、他の公共施設・民間施設との集約化や複合化・多機能化により、建物総量の圧縮を図ることが必要です。

【別紙 2－2】

(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン (案)

～便利で楽しい地域の拠点～

町田市

目次

第1章 計画の概要

1 計画の背景・目的	1
2 計画期間	1
3 計画の位置づけ	1

第2章 市民センター等の現状と課題

1 市民センター等の概要	2
（1）市民センター等の設置状況	2
（2）市民センター等の利用状況	5
（3）市民センター等の利用ニーズ	8
2 市民センター等を取り巻く環境の変化	11
（1）財政のひっ迫・施設の老朽化・維持管理費の増大	11
（2）施設機能毎の考え方としての施設再編	13
（3）行政窓口のデジタル化への対応	13
（4）利便性の向上	15
（5）認知度の向上	15
（6）市民センター等の将来的な役割の変化	15

第3章 目指すべき将来像と施策の柱

1 本ビジョンにおける取り組みの考え方	16
2 目指す将来像と施策の柱	16

第4章 取り組みの方向性

施策の柱1 「サービス・利便性」をチェンジ	18
（1）目指す姿と指標	18
（2）施策の方向性	18
① 行政手続きのデジタル化の推進	18
② 手続きのための窓口から相談窓口への転換	19
③ 市民センター等の機能等の見直し	20
施策の柱2 「ソフト・魅力」をチェンジ	21
（1）目指す姿と指標	21
（2）施策の方向性	21
① 多彩な「楽しみ」を創出	21
② 利用団体等が実施するイベントの支援	22

③ <学び>の場の提供	22
施策の柱3 「地域・コミュニティ」への支援をチェンジ	23
(1) 目指す姿と指標	23
(2) 施策の方向性	23
① 地域のコミュニティづくりの相談や支援を行う体制の整備	23
② 地域活動の拠点としての活用推進	23
③ 地域活動の支援	24
施策の柱4 「コスト・民間協働」をチェンジ	25
(1) 目指す姿と指標	25
(2) 施策の方向性	25
① 管理運営手法の見直し	25
② 情報発信の強化	26
③ 他の公共施設・民間施設の活用	26
5 スケジュール	28

第5章 ビジョンの推進に向けて

1 ビジョンの推進について	29
2 今後の検討の進め方(2021～2026年度)	29
(1) 具体的な取り組みの検討	29
(2) 検討内容	29

コラム目次

・マイナンバー制度とは	14
・町田市のデジタル化	19
・災害対応	20
・武蔵野市立「武蔵野プレイス」(事例紹介)	22
・町田市地域市民相談室とは	24
・指定管理者制度とは	26
・学校との複合化・多機能化(事例紹介)	27

第1章 計画の概要

1 計画の背景・目的

町田市の公共施設は、1960年代後半から1980年代前半にかけてその多くを整備したことから、老朽化が進んでいます。また、人口減少や少子高齢化の加速による市税収入の減少が見込まれることにより維持管理経費の財源確保が非常に困難な状況となるため、長期的な視点に立った公共施設のあり方の検討が急務となっています。市民センター等（市民センター、コミュニティセンター、市民フォーラム）の集会施設についても、2040年過ぎに建物の耐用年数である60年を迎える施設が多いことなど老朽化が著しく、他の公共施設と同様に今後のあり方の検討が必要となっています。

行政窓口についても、ICTやAI等のデジタルテクノロジーの進歩によるデジタル社会の進展により、今後急速に手続きのオンライン化が進むものと考えられます。また、マイナンバーカードの普及によるコンビニエンスストアでの証明書自動交付サービスの取扱件数も年々増加しており、行政窓口へ来所することなく自宅や身近な場所でより簡単に行政手続きが可能となるなど、行政サービスが大きく変化することが想定されます。

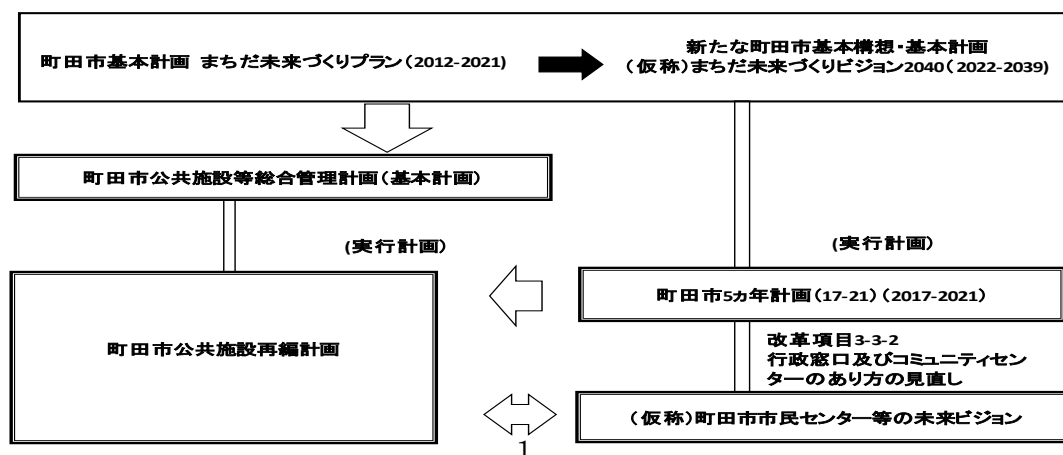
そこで、限られた財源の中で社会変化に対応し、より良い行政サービスが提供できるよう、将来を見据えた長期的な視点で市民センター等の機能のあり方について示す「（仮称）町田市市民センター等の未来ビジョン」（以下「ビジョン」という。）を策定します。

2 計画期間

2021年度～2039年度

3 計画の位置づけ

本計画は、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」を上位計画として策定します。なお、本計画に位置付ける施策は、「町田市公共施設再編計画」等の関連計画・施策と連携しながら取り組みます。【図表1 本計画の位置づけ】



第2章 市民センター等の現状と課題

1 市民センター等の概要

(1) 市民センター等の設置状況

町田市では、行政窓口として、市民センターを6か所、連絡所を5か所設置しています。また、集会施設として、市民センターを6か所、コミュニティセンター等を8か所設置しています。

【図表 2-1 施設一覧表】

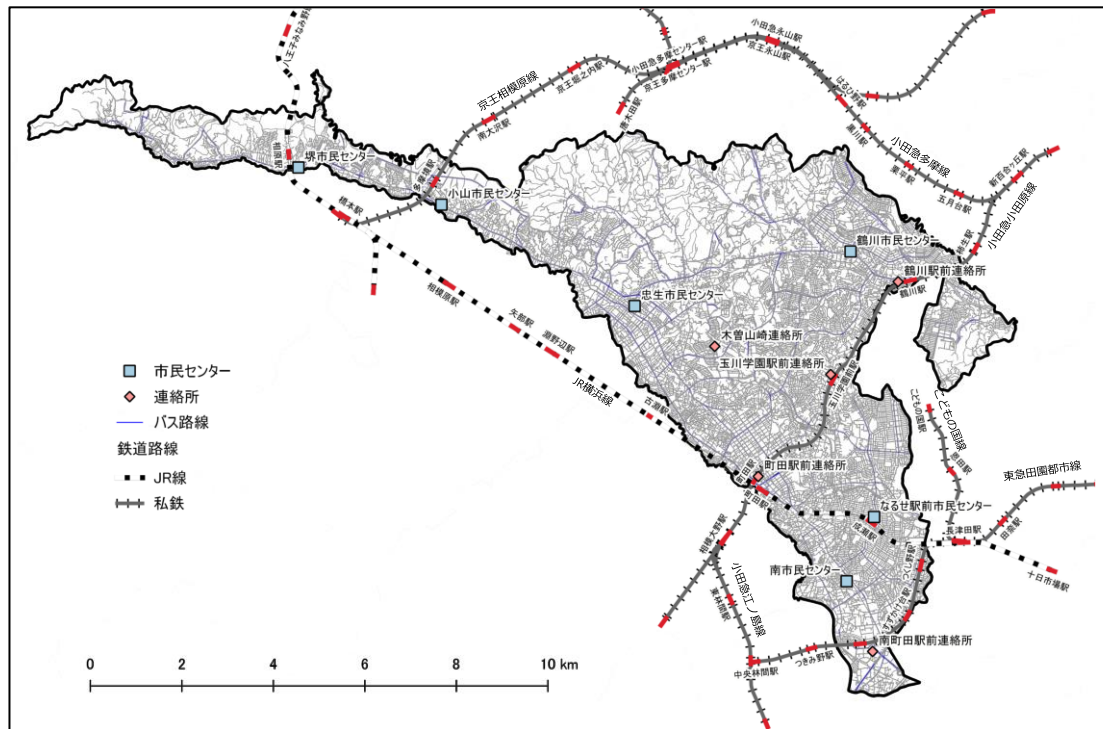
種別	対象施設	所在地	延床 面積 (㎡)	築年度	主構造	運営 形態	行政窓口			集会施設	
							利用時間		週末 開庁日	利用 時間	休館日
							平日	週末			
市民 センター	忠生市民センター	東京都町田市忠生3-14-2	4,810	2014	RC	直営	8:30～ 17:00	8:30～ 17:00	第2・4 日曜	9:00～ 22:00	第3月曜
市民 センター	鶴川市民センター	東京都町田市大蔵町1981-4	2,610	1985	RC	直営	8:30～ 17:00	8:30～ 17:00	第2・4 日曜	9:00～ 22:00	第1月曜
市民 センター	南市民センター	東京都町田市金森4丁目5番6号	2,117	1986	RC	直営	8:30～ 17:00	8:30～ 17:00	第2・4 日曜	9:00～ 22:00	第3月曜
市民 センター	なるせ駅前市民センター	東京都町田市南成瀬1-2-5	2,077	1995	S	直営	8:30～ 17:00	8:30～ 17:00	第2・4 日曜	9:00～ 22:00	第3月曜
市民 センター	堺市民センター	東京都町田市相原町795-1	2,863	1982	RC	直営	8:30～ 17:00	8:30～ 17:00	第2・4 日曜	9:00～ 22:00	第3月曜
市民 センター	小山市民センター	東京都町田市小山町2507-1	2,705	1994	RC	直営	8:30～ 17:00	8:30～ 17:00	第2・4 日曜	9:00～ 22:00	第2火曜
連絡所	町田駅前連絡所	東京都町田市原町田6-12-20	109	1998	SRC	直営	8:30～ 19:00	10:00～ 17:00	土日 除く祝 日振休	—	—
連絡所	鶴川駅前連絡所	東京都町田市能ヶ谷一丁目2番1号	67	2012	RC	直営	8:30～ 19:00	10:00～ 17:00	土日 除く祝 日振休	—	—
連絡所	南町田駅前連絡所	東京都町田市鶴間3-10-2	121	2009	RC	直営	8:30～ 19:00	10:00～ 17:00	土日 除く祝 日振休	—	—
コミュニティー センター/連絡所	木曽山崎コミュニティーセンター (木曽山崎連絡所)	東京都町田市山崎町2160-4	2,105	1982	RC	直営	8:30～ 17:00	—	—	9:00～ 22:00	第2月曜
コミュニティー センター/連絡所	玉川学園駅前連絡所（旧玉川学 園コミュニティーセンター）	東京都町田市玉川学園2-18-35	595	1974	RC	直営	8:30～ 17:00	—	—	建替え 工事中	—
コミュニティー センター	上小山田コミュニティーセンター	東京都町田市上小山田町2616-2	258	1977	RC	直営	—	—	—	9:00～ 22:00	第3月曜
コミュニティー センター	成瀬コミュニティーセンター	東京都町田市西成瀬2-49-1	1,847	2016	RC	直営	—	—	—	9:00～ 22:00	第2火曜
コミュニティー センター	つくし野コミュニティーセンター	東京都町田市つくし野2-26-5	1,003	1982	RC	直営	—	—	—	9:00～ 22:00	第3水曜
コミュニティー センター	木曽森野コミュニティーセンター	東京都町田市木曽東1-2	2,105	1990	SRC	直営	—	—	—	9:00～ 22:00	第2水曜
コミュニティー センター	三輪コミュニティーセンター	東京都町田市三輪緑山4-14-1	1,503	2001	RC	直営	—	—	—	9:00～ 22:00	第3水曜
市民 フォーラム	市民フォーラム	東京都町田市原町田4-9-8	4,465	1999	RC	直営	—	—	—	9:00～ 22:00	第3水曜

※主構造 SRC：鉄骨鉄筋コンクリート造、RC：鉄筋コンクリート造、S：鉄骨造

行政窓口のうち、市民センターでは、証明書発行、登録届出・申請届出、高齢者関連、子育て関連、市税の納入、マイナンバーカード関連手続き、その他交通共済等の手続きを行うことができます。連絡所では、証明書発行と母子手帳の交付等の手続きを行うことができます。また、5か所の連絡所のうち、コミュニティセンター内に併設された2か所を除き、休日窓口を開設しています。

集会施設については、基本的にホール、会議室、和室を備え、さらに多目的室、音楽室、調理室等を備えている施設もあります。また、一部の市民センターでは、図書館、高齢者福祉施設等を併設しています。

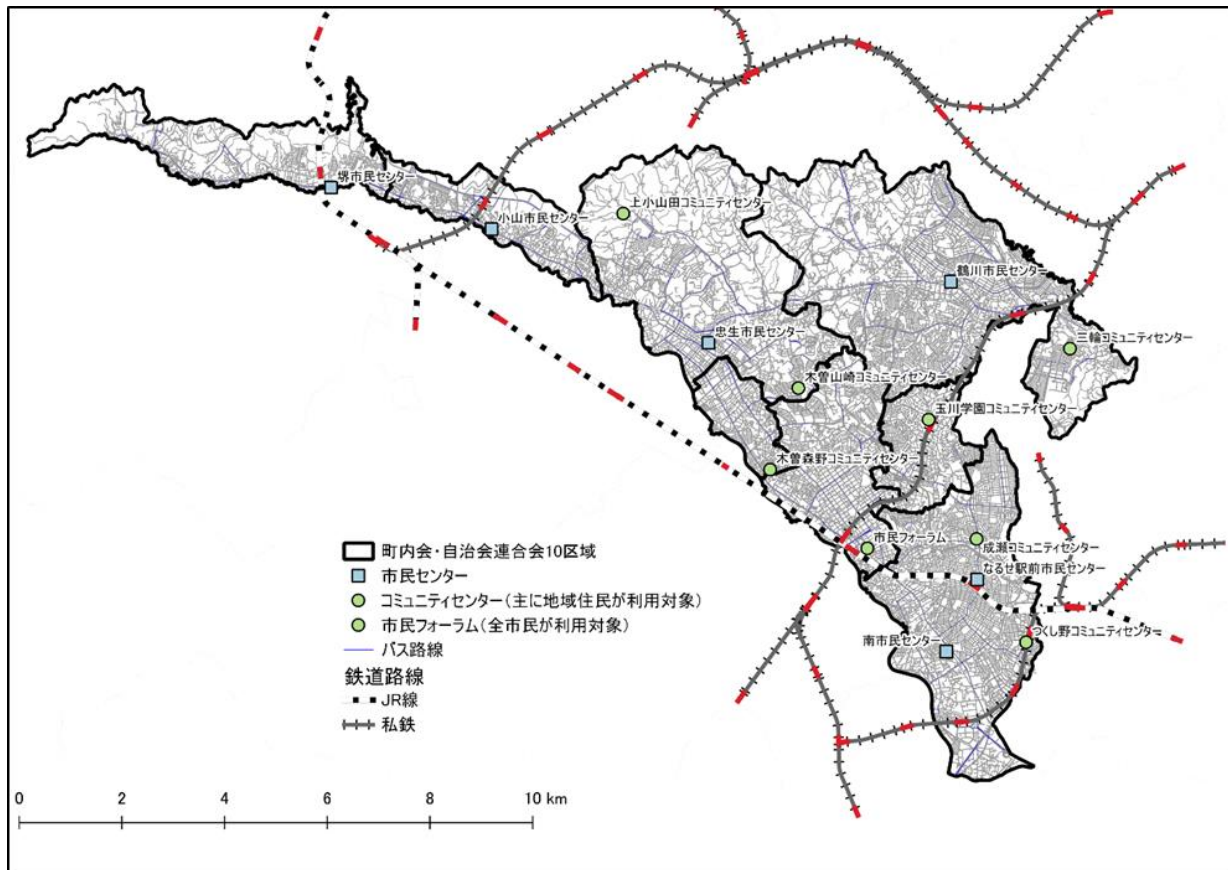
【図表 2-2 行政窓口の配置状況】



【図表 2-3 各行政窓口の機能】

			市役所の出張所機能																				
種別	地域	対象施設	休日 窓口	証明書発行				登録・届出 申請・届出				高齢者関連		子育て関連		市税 の納入	その他手続						
				住基	戸籍	印鑑 登録	税 証明	住基	戸籍	印鑑 登録	国保	年金	医療 介護	手当 医療	母子 手帳		交通 共済	自動車	原付	飼い 犬			
市民 センター	忠生	忠生市民センター	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
市民 センター	鶴川	鶴川市民センター	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
市民 センター	南	南市民センター	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
市民 センター	成瀬	なるせ駅前市民センター	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
市民 センター	相原	堺市民センター	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
市民 センター	小山 小山ヶ丘	小山市民センター	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
連絡所	町田中心	町田駅前連絡所	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×		
連絡所	鶴川	鶴川駅前連絡所	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×		
連絡所	南	南町田駅前連絡所	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×		
コミュニティーセン ター/連絡 所	本町田 薬師池	木曾山崎連絡所(木曾山崎コ ミュニティセンター)	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×		
コミュニティーセン ター/連絡 所	玉川学園 南大谷	玉川学園駅前連絡所(玉川学 園コミュニティセンター)	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×		

【図表 2-4 集会施設の配置状況】



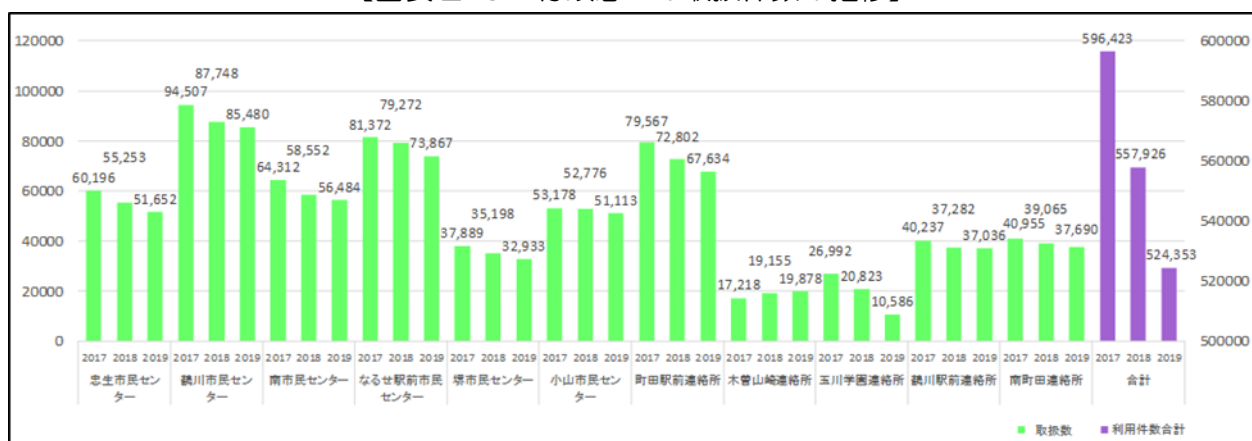
【図表 2-5 各集会施設の機能】

種別	地域	対象施設	複合・併設施設																	備考
			集会施設	ホール	会議室	多目的室	和室	音楽室	料理講習室	美術工芸室	保育室	いこいの間	学習室	視聴覚室	文化ホール施設	図書館	高齢者福祉施設	保健センター	その他	
市民センター	忠生	忠生市民センター	○	○	○	○	○	×	○	×	△	×	×	×	—	○	—	○	—	2016/10改修済み
市民センター	鶴川	鶴川市民センター	○	○	○	×	○	○	×	×	△	×	×	×	—	—	—	—	—	
市民センター	南	南市民センター	○	○	○	×	○	○	×	×	△	×	×	×	—	—	—	—	—	
市民センター	成瀬	なるせ駅前市民センター	○	○	○	×	○	×	×	×	△	×	×	×	—	—	—	—	○	自転車駐輪場
市民センター	相原	堺市民センター	○	○	○	×	○	○	×	×	△	×	×	×	—	○	○	—	—	
市民センター	小山 小山ヶ丘	小山市民センター	○	○	○	○	○	○	×	×	△	○	×	×	—	—	—	—	—	
コミュニティセンター/連絡所	本町田 薬師池	木曾山崎連絡所(木曾山崎コミュニティセンター)	○	○	○	×	○	○	×	×	△	×	×	×	—	—	○	—	—	
コミュニティセンター/連絡所	玉川学園 南大谷	玉川学園駅前連絡所(玉川学園コミュニティセンター)	○	○	○	×	○	×	×	×	△	○	×	×	—	—	—	—	—	
コミュニティセンター	忠生	上小山田コミュニティセンター	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	—	—	—	—	—	使用料無料
コミュニティセンター	成瀬	成瀬コミュニティセンター	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	×	×	—	—	—	—	—	
コミュニティセンター	南	つくし野コミュニティセンター	○	○	○	×	○	○	×	×	△	×	×	×	—	—	—	—	—	
コミュニティセンター	本町田 薬師池	木曾森野コミュニティセンター	○	○	○	×	○	○	×	×	△	×	×	×	—	—	—	—	—	都営住宅内／都から無償借用
コミュニティセンター	鶴川	三輪コミュニティセンター	○	○	○	×	○	×	×	×	△	×	×	×	—	—	—	—	—	
市民フォーラム	町田中心	市民フォーラム	○	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	—	—	—	—	—	区分所有

（２）市民センター等の利用状況

行政窓口の取扱件数は、2017年度の約596千件から2019年度では約524千件と約12％減少しており、減少傾向が見られます。国は、マイナンバーカードの普及拡大について、2022年度末にほぼ全国民に行き渡ることを目指すとしており、行政手続きの際に提出する証明書を省略することができる情報連携の仕組みの進展により証明書発行件数は減少傾向にあること、また町田市では、マイナンバーカードにより、全国のコンビニエンスストアで証明書を取得できるコンビニ交付を2016年1月から開始していることから、証明書発行に関連する行政窓口の取扱件数は今後さらに減少することが見込まれます。

【図表 2-6 行政窓口の取扱件数の推移】

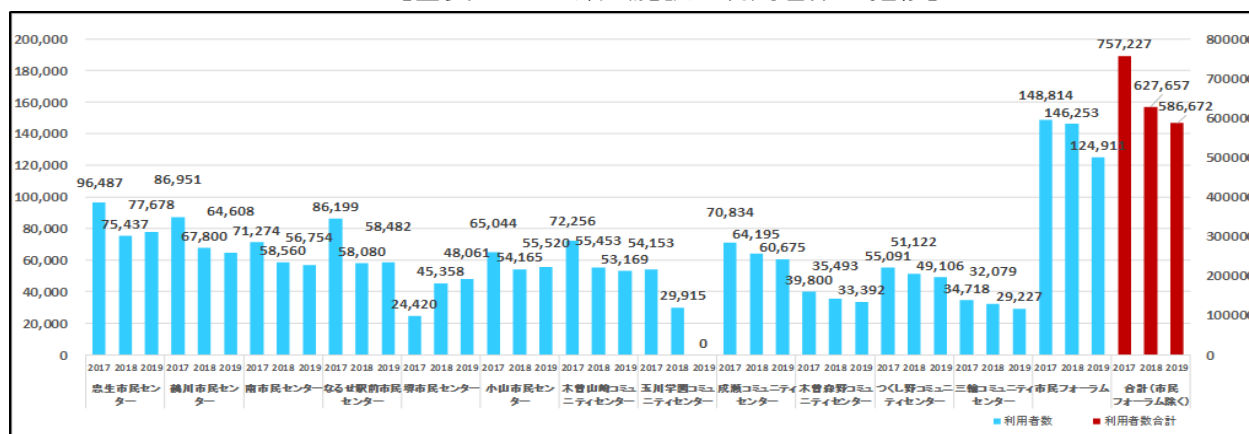


【図表 2-7 町田市におけるマイナンバーカード交付の状況】

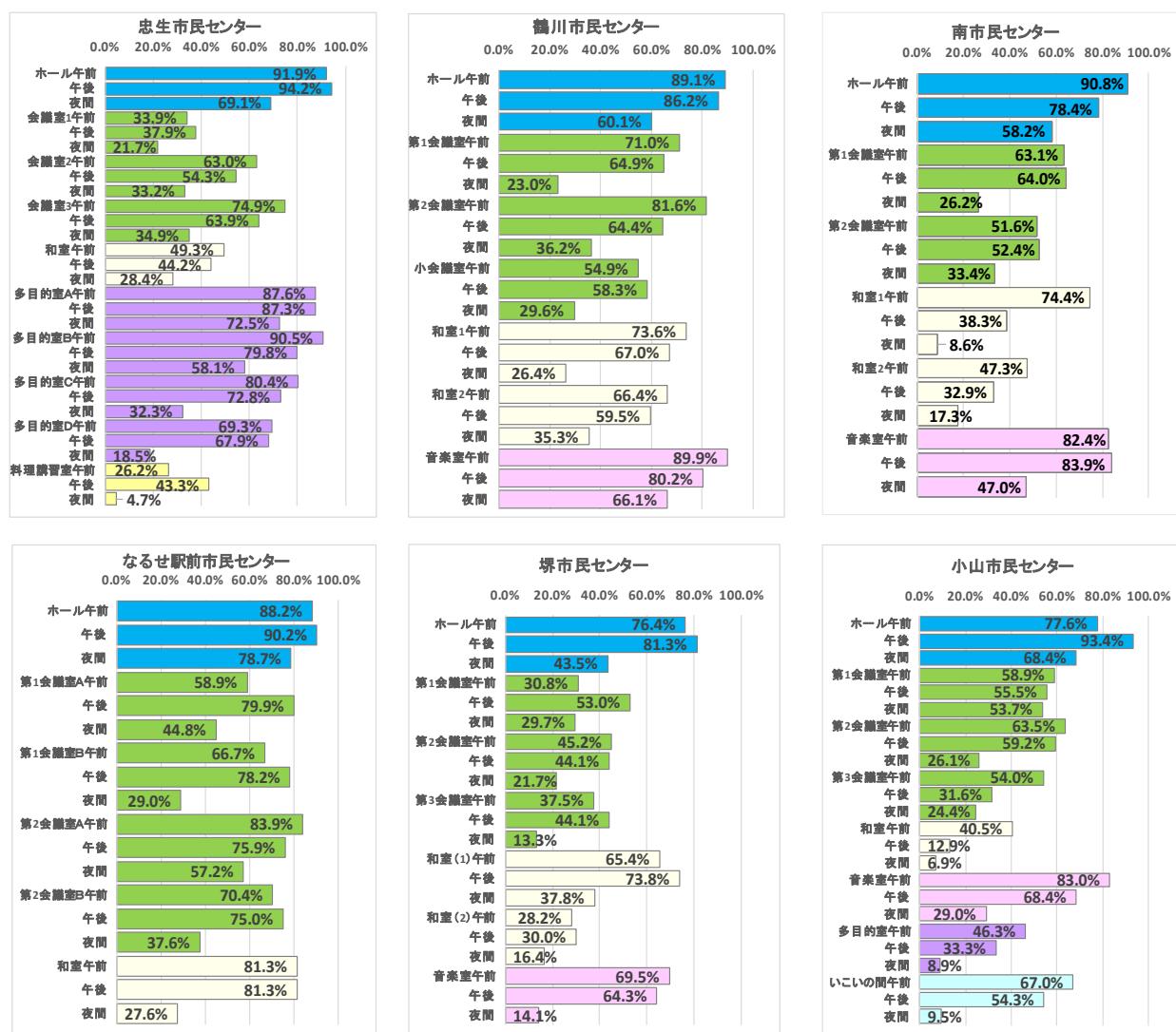


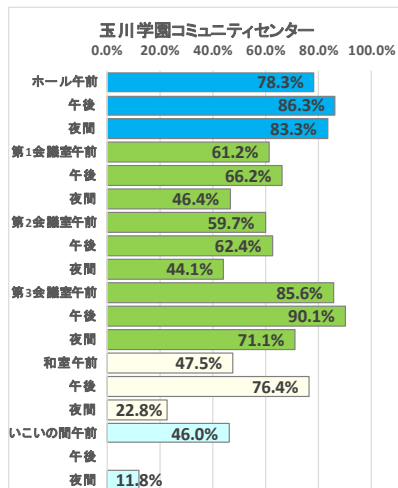
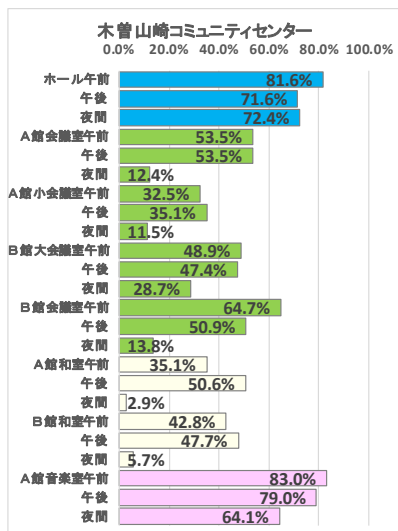
集会施設の利用者数では、2017年度の約757千人から2019年度では約587千人と約23%減少しており、減少傾向が見られます。また、諸室別・時間帯別利用率を見ると、午前・午後の利用率に対して夜間の利用率が低い状況が見られること、ホールの利用率が高く、続いて多目的室や会議室等の利用率が高く、料理講習室などの利用用途が限られている部屋の利用率が低いといった傾向が見られます。

【図表 2-8 集会施設の利用者数の推移】

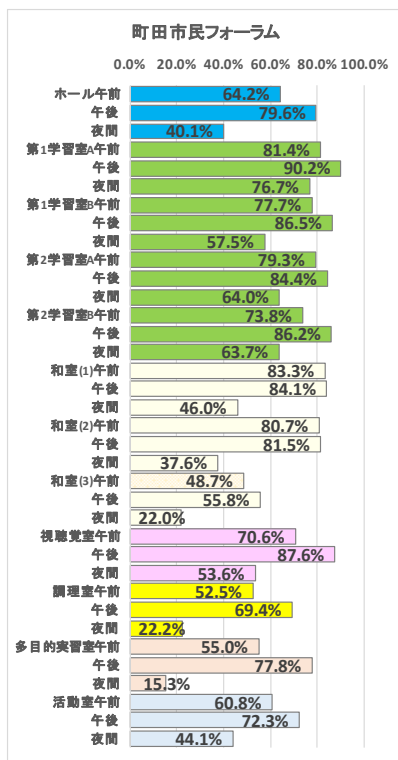
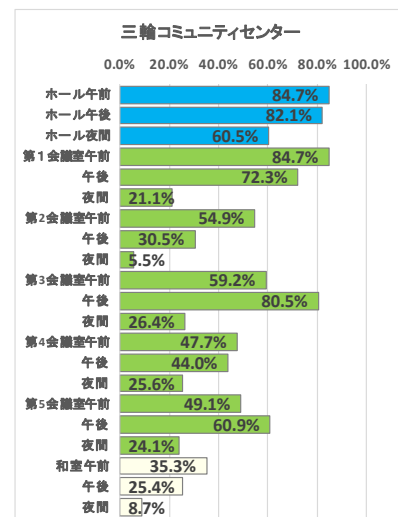
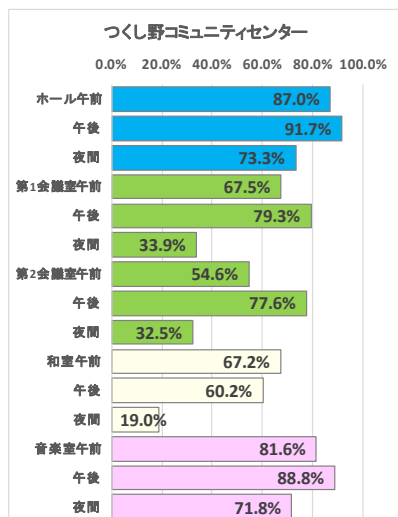
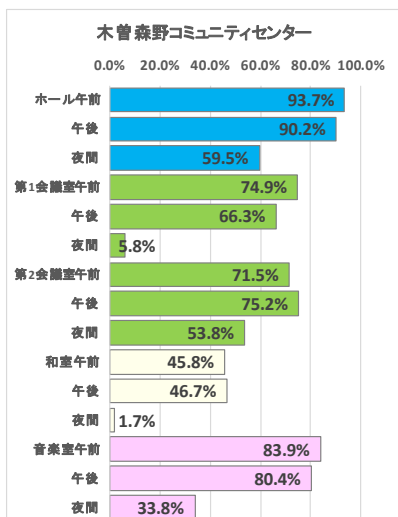
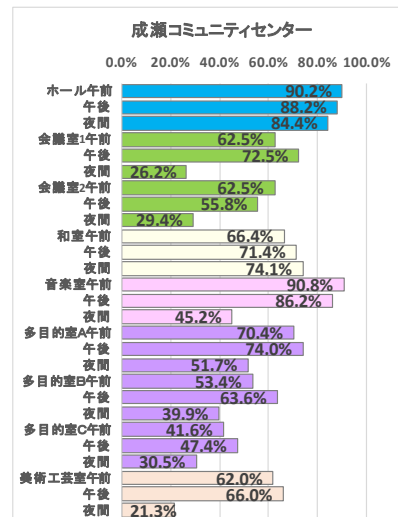


【図表 2-9 集会施設の諸室別・時間帯別利用率（2019年度）】





※2018年12月より建替工事のため2018年度利用率を記載

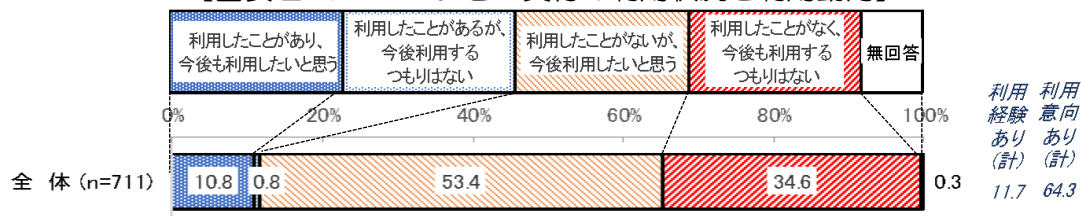


（３）市民センター等の利用ニーズ

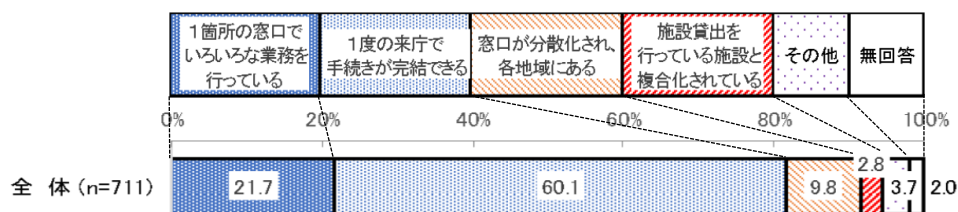
行政窓口、集会施設の利用状況やそのマネジメントに対する意識、意見等を調査し、現状把握や課題の抽出をすることなどを目的に、2020 年 2 月に町田市内在住の 15 歳以上 80 歳未満の 2,000 人を対象としてアンケート調査（有効回収数 711 件）を行いました。

行政窓口に関するアンケート調査結果によると、コンビニ交付の利用状況と利用意向に関しては、「利用したことがないが、今後利用したいと思う」（53.4％）の割合が最も高く、過半数を超えました。行政窓口に求めるものとしては、「1 度の来庁で手続きが完結できる」（60.1％）の割合が最も高く、過半数を超えました。行政窓口の最適な配置場所としては、「公共交通機関の利用の便が良い場所」（66.4％）の割合が最も高く、過半数を超えました。行政窓口の方向性については、「他公共施設との複合化を行い、建物の総量を圧縮」（34.3％）の割合が最も高く、以下「自動化・オンライン化を進め、行政窓口機能を縮小」（26.4％）、「コンビニ交付を進め、証明書発行特化行政窓口は廃止」（15.3％）などが続く結果となりました。

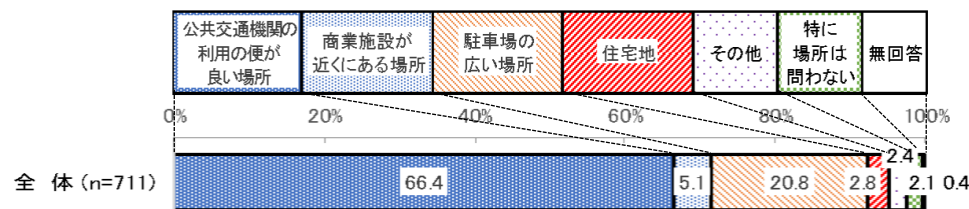
【図表 2-10 コンビニ交付の利用状況と利用動向】



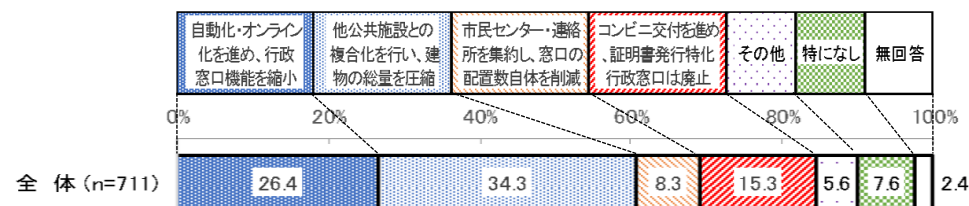
【図表 2-11 行政窓口を求めるもの】



【図表 2-12 行政窓口の最適な配置場所】



【図表 2-13 行政窓口の方向性】



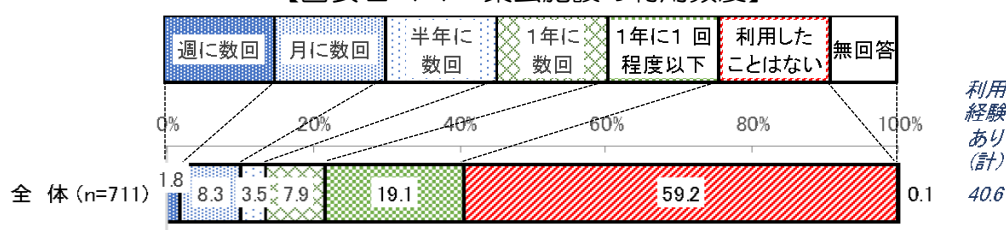
集会施設に関するアンケート調査結果によると、集会施設の利用頻度については、「利用したことはない」（59.2%）が6割弱を占める結果となりました。使用しない理由としては、「特に利用する機会がない」（75.8%）の割合が約4分の3を占めました。

今後の集会施設の改善点としては、「実施イベントの充実（子育て講座、健康体操など）」（32.3%）の割合が最も高く、以下「施設利用におけるサービスの充実（飲食スペースの確保など）」（20.2%）、「使用料の値下げ」（9.5%）が続く結果となりました。

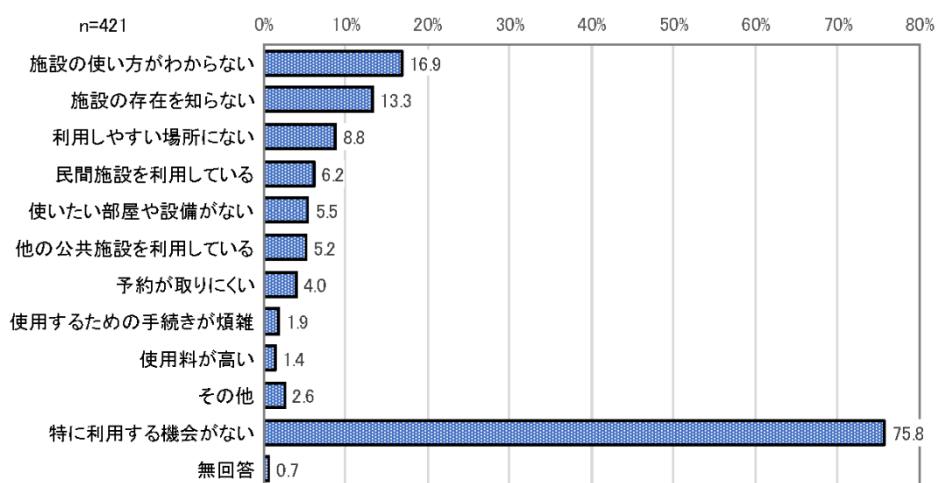
集会施設の最適な配置場所については、「公共交通機関の利用の便が良い場所」（53.4%）の割合が最も高く、過半数を超え、次いで「駐車場の広い場所」（24.8%）が高い結果となりました。

集会施設の方向性については、「利用客が少なく、運営コストに見合わない集会施設は廃止」（29.4%）の割合が最も高く、以下「民間事業者に管理や運営を委託し、コストを削減」（20.8%）、「他公共施設との複合化を行い、建物の総量を圧縮」（20.5%）などが続く結果となりました。

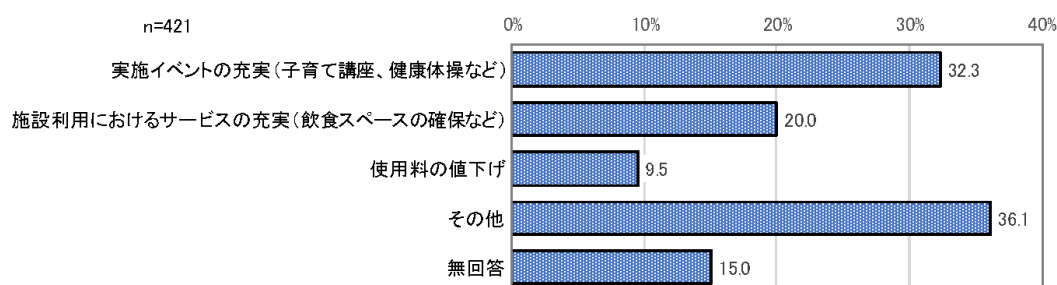
【図表 2-14 集会施設の利用頻度】



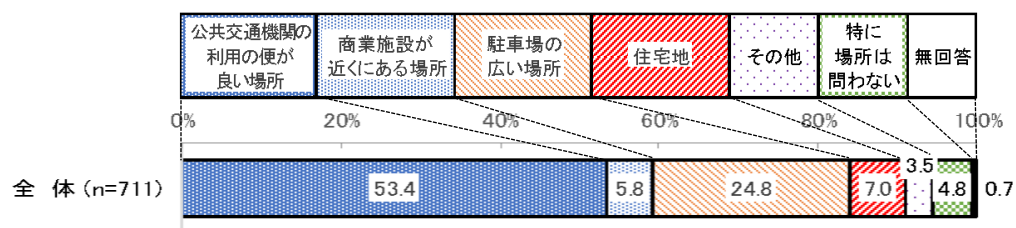
【図表 2-15 集会施設を利用しない理由】



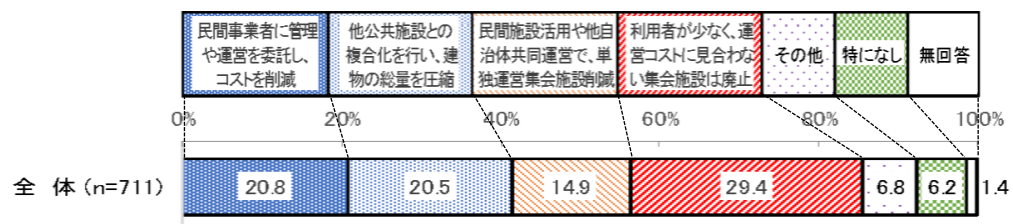
【図表 2-16 集会施設の改善点】



【図表 2-17 集会施設の最適な配置場所】



【図表 2-18 集会施設の方向性】

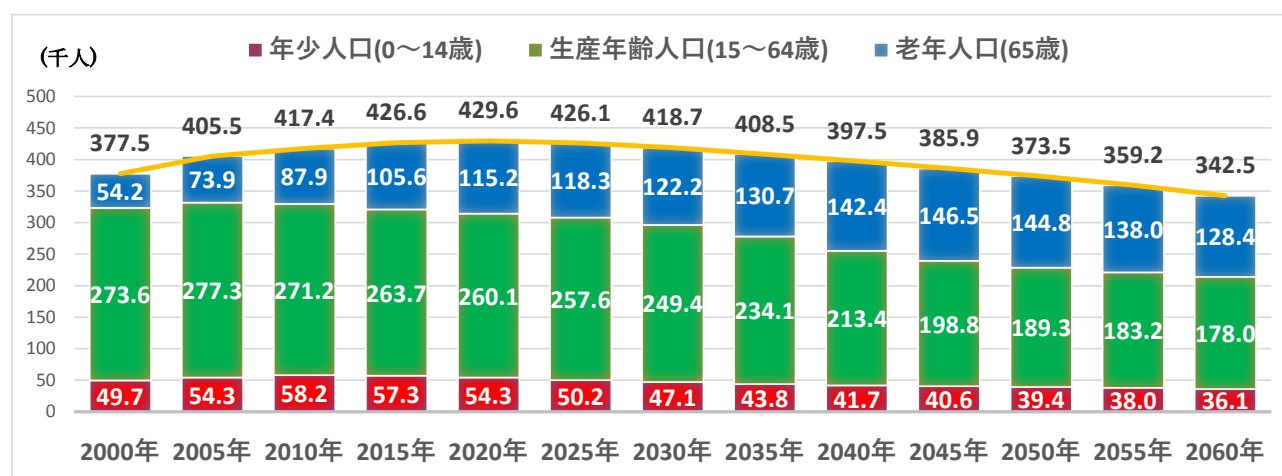


2 市民センター等を取り巻く環境の変化

(1) 財政のひっ迫・施設の老朽化・維持管理費の増大

町田市が行った将来人口推計の結果に基づき、2020年以降の推移をみると、近い将来、総人口は長期にわたる減少局面に移行します。年少人口（0～14歳）は2010年をピークに、生産年齢人口（15～64歳）は2005年をピークに減少傾向に転じる一方で、老年人口は2050年まで増加を続ける推計となっており、当面、人口減少と高齢化が進むことから、市民センター等に対するニーズについても変化していくものと考えられます。

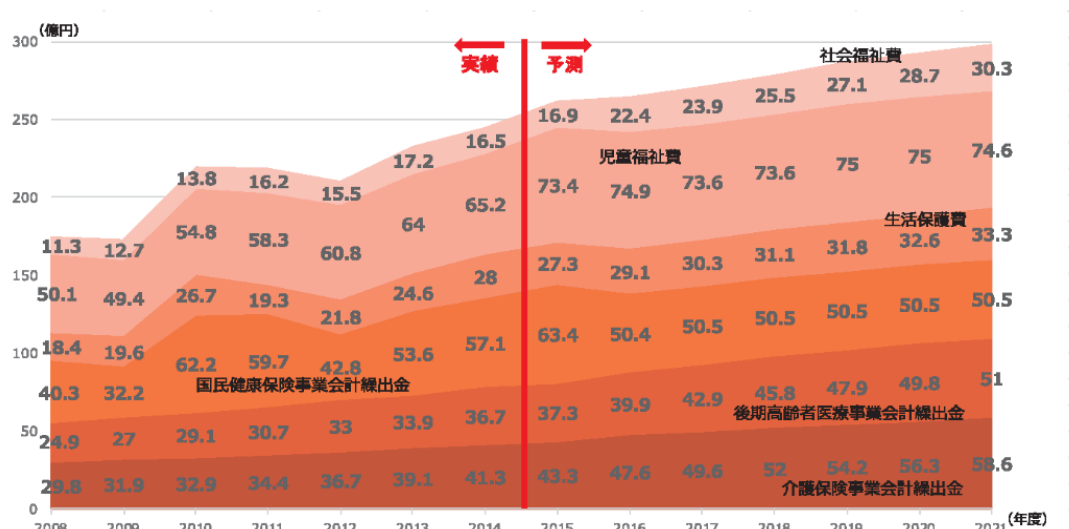
【図表 2-19 町田市の将来人口】



出典：町田市「住民基本台帳」（2000～2015年） 町田市未来づくり研究所「将来人口推計」（2020～2060年）

町田市の財政は、少子高齢化を背景として社会保障関係経費が増加を続けています。特に、高齢化の進展により介護保険事業会計、後期高齢者医療事業会計の市の負担額の増加や、生活保護費の増加が顕著となっています。今後も生産年齢人口の減少、高齢化が進むことから、社会保障関係経費は増加していくことが予測されます。

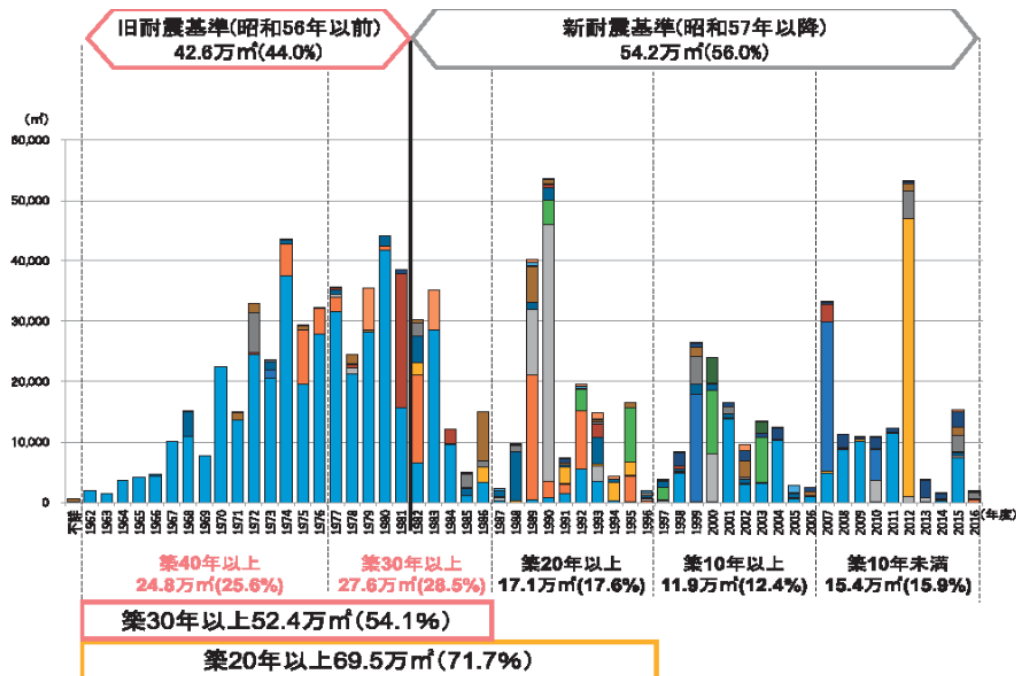
【図表 2-20 社会保障関係経費の実績推移と予測】



出典：町田市公共施設再編計画（2018年）

町田市は急激な人口増加や社会環境の変化に対応するため、1960 年代後半から 1980 年代前半にかけて学校教育系施設を中心に多くの公共施設を整備してきました。現在では、築 30 年以上の施設が過半を超えており、施設の老朽化が進んでいます。

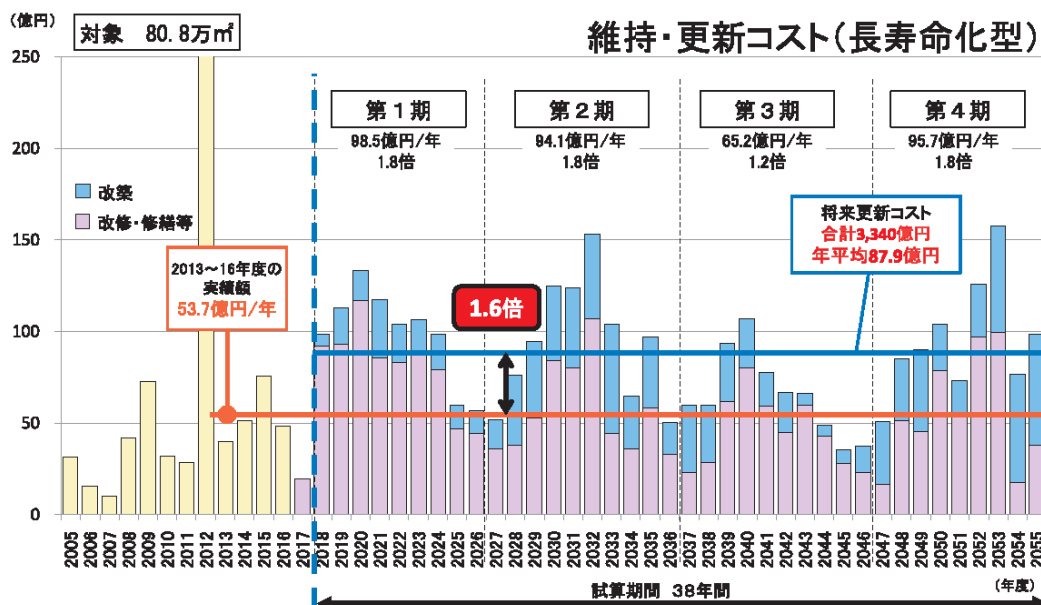
【図表 2-2 1 公共施設の建築年別の延床面積】



出典：町田市公共施設再編計画（2018 年）

既存施設を維持した場合の将来の維持・更新費のシミュレーションでは、築 80 年まで使用すると想定した場合、これまでに公共施設にかけた年間経費の 1.6 倍の支出が見込まれることから、施設の再編や市民サービス提供方法の見直しが必要となっていることがわかります。

【図表 2-2 2 公共施設の将来の維持・更新費】

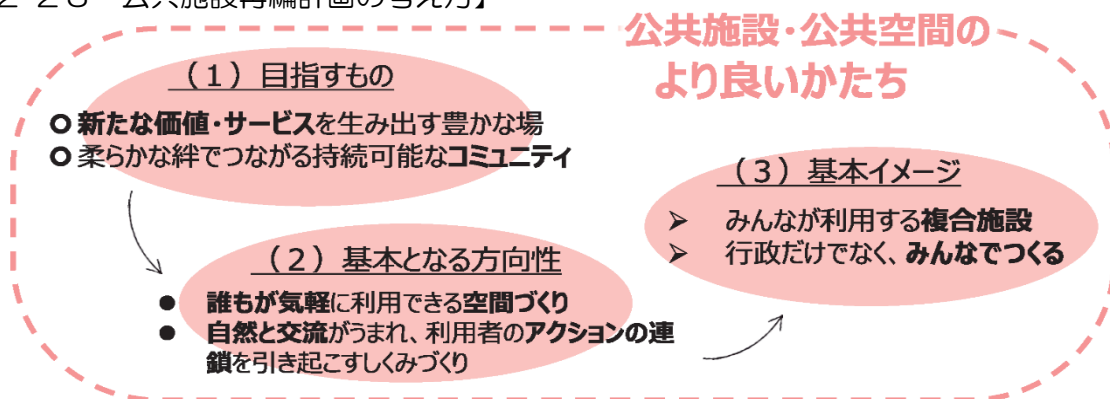


出典：町田市公共施設再編計画（2018 年）

（２）施設機能毎の考え方としての施設再編

（１）のような状況を背景に、町田市では、公共施設・公共空間のより良いかたちを目指して、2018年に公共施設再編計画を策定しました。ここでは、目指すものとして、「新たな価値・サービスを生み出す豊かな場」、「柔らかな絆でつながる持続可能なコミュニティ」を設定し、基本となる方向性を、「誰もが気軽に利用できる空間づくり」、「自然と交流が生まれ、利用者のアクションの連鎖を引き起こすしくみづくり」としています。また、基本イメージとしては、「みんなが利用する複合施設」、「行政だけでなくみんながつくる」とし、公共施設を「建物」と、そこで提供される「サービス・機能」に一旦切り離し、それぞれに対して将来に向けあり方を考えるとしています。

【図表 2-23 公共施設再編計画の考え方】



同計画では、市民センター等の「サービス・機能」を「行政窓口」及び「集会施設」機能と位置付け、今後の方向性について以下のように示しています。

行政窓口については、「集約により建物の総量を圧縮する一方で、維持する建物については、複合化・多機能化や長寿命化により地域拠点としての機能強化を図る」としています。集会施設については、「集約化や複合化・多機能化により建物の総量の圧縮や地域の活動拠点の強化を図るとともに、管理運営手法等の見直しを実施することで、新たな交流や活動の場を維持し、豊かで持続可能な地域社会づくりを進める」としています。

（３）行政窓口のデジタル化への対応

国では、2019年5月に成立した（通称）デジタル手続法において、行政のデジタル化を推進するため、①デジタルファースト（個々の手続き・サービスが一貫してデジタルで完結）、②ワンスオンリー（一度提出した情報は二度提出しなくてよい）、③コネクテッド・ワンストップ（複数の手続き・サービスをワンストップで実現）という3つの原則を定めました。また、2021年にデジタル庁を新設するとし、各省庁にある関連する組織を一元化し、司令塔機能を持たせることでデジタル改革を進めていくとしています。

町田市においても、デジタル技術を活用し、行政手続き等の利便性の向上と行政運営の簡素化・効率化を図る必要があります。

そうした中、マイナンバーカードについては、2019年6月の国のデジタル・ガバメント閣僚会議において「2022年度中にほとんどの住民がマイナンバーカードを保有することを想定」しています。2020年度においてはマイナポイント事業の開始や健康保険証としての利用が可能となる他、

今後、薬剤情報・特定健診情報等の照会・提供サービス開始や、各種カード、手帳等の一体化の推進（例：運転免許証、ハローワークカード、ジョブカード、母子健康手帳、障害者手帳等）などにより、一層の普及が想定されることから、コンビニ交付の利用件数が増加することで行政窓口での証明書発行件数の大幅な減少が見込まれます。

【コラム】マイナンバー制度とは

マイナンバー制度は、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現し、行政を効率化する社会基盤です。マイナンバーは、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に情報を管理し、複数の機関が保有する個人の情報が同一人の情報であることを確認するために活用されます。

マイナンバー制度の導入のポイントは、次のとおりです。

○国民の利便性の向上

これまで、市区町村役場、税務署、社会保険事務所など複数の機関を回って書類を入手し、提出するということがありました。マイナンバー制度の導入後は、社会保障・税関係の申請時に、課税証明書などの添付書類が不要となるなど、面倒な手続きが簡単になります。また、本人や家族が受けられるサービスの情報のお知らせを受け取ることも可能になる予定です。

○公平・公正な社会の実現

国民の所得状況等が把握しやすくなり、税や社会保障の負担を不当に免れることや不正受給の防止、さらに本当に困っている方へのきめ細かな支援が可能になります。

○行政の効率化

マイナンバー制度の導入後は、国や地方公共団体等での手続き、個人番号の提示、申請書への記載などが求められます。国や地方公共団体の間で情報連携が始まると、これまで相当な時間がかかっていた情報の照合、転記等に要する時間・労力が大幅に削減され、手続きが正確でスムーズになります。

今後、マイナンバーカードの健康保険証（2020年度予定）や運転免許証（2024年度予定）としての利活用が進んでいくことから、マイナンバーカードの利活用シーンが更に拡大していくことが想定されます。

<マイナンバー制度における安全対策>

マイナンバー制度において懸念されるセキュリティ対策として、本人確認や個人情報保護委員会による監視など制度面における保護措置に加えて、個人情報の分散管理や情報連携にマイナンバーそのものを利用しないなど、システム面における保護措置を設けているとともに、マイナンバーカードにはプライバシー性の高い個人情報は記録されないほか、偽造防止のための様々なセキュリティ対策が施されています。

（出典：総務省ホームページ、
内閣府ホームページ）



<マイナンバーカードは持ち歩いて大丈夫！>

**大事な個人情報
入っていません**

マイナンバーカード(ICチップ)には、税や年金、
預金残高などプライバシー性の高い個人情報は
入っていません



**「なりすまし」は
できません**

マイナンバーカードには、顔写真が付いているので、
他人がなりすまして使うことはできません



（４）利便性の向上

利便性の向上について、2020 年度に実施した市民意見募集や各地区協議会へのインタビュー、市民ワークショップ等での意見では、幅広い年齢層の市民が、気軽に立ち寄れて、多様な利用が可能な施設が求められている状況です。

そのためには、行政の縦割りの管轄により、公共施設の機能がそれぞれ単独に分散されて設置されているよりも、様々な用途で利用できる柔軟性の高い施設であること、駐車場や公共交通機関の整った場所に設置すること等が重要と考えられます。

現在、町田市教育委員会において、児童・生徒数の減少や新たな学習環境整備の必要性に対応して「（仮称）町田市新たな学校づくりの推進計画」の策定を進めていますが、学校施設を活用した市民活動の充実も利便性の向上に資するものと考えられます。

（５）認知度の向上

前述の集会施設に関するアンケート調査結果にもみられるように、集会施設を利用しない理由として、「施設の使い方がわからない」（16.9%）、「施設が存在を知らない」（13.3%）等がありました。町田市市民センター等のあり方検討委員会（2020年7月設置）の若手の委員や高校生のワークショップからも、施設が存在・内容等を知らないという意見が寄せられており、施設の認知度の向上が一つの課題として考えられます。

幅広い世代にとって魅力的なサービス提供を検討するとともに、施設の機能や使い方などを、それぞれの年齢層に応じた手段によって効果的に広報していくことが必要です。

（６）市民センター等の将来的な役割の変化

市民意見募集や各地区協議会へのインタビュー、市民ワークショップ等での意見では、行政窓口のデジタル化等が今後一層進む一方で、オンライン化に対応できない人への対応、困った時に相談できる場所が必要という意見があり、行政窓口の役割を、行政手続きや証明書発行等の行政サービスを行う場から、身近な地域でいろいろな相談ができる場へ変化させていくことが求められていると考えられます。

また、多世代交流や若者の地域での活動などの実現のため、各地区ごとに拠点となる場所を設置していくことが必要との意見もありました。

こうした市民センター等の将来的な役割の変化に対して、民間と協働した魅力的なサービス提供の実現や、商業施設などの民間施設への設置、地域に根差した施設である学校を利活用して身近で市民活動を行えるようにしたりといった、地域の実情・特性に応じた市民センター等の将来的な役割の変化を明確にしながら、新しいあり方を実現していくことが必要です。

第3章 目指すべき将来像と施策の柱

1 本ビジョンにおける取り組みの考え方

これまで見てきたように、市民センター等を取り巻く環境は、今後ますます変化していくことが予想されます。これらの変化に柔軟に対応し、市民センター等が身近な行政窓口、地域コミュニティの拠点としてさらに変化していくためには、市民、団体、事業者と行政が連携して新しい取り組みを進めていく事が重要です。

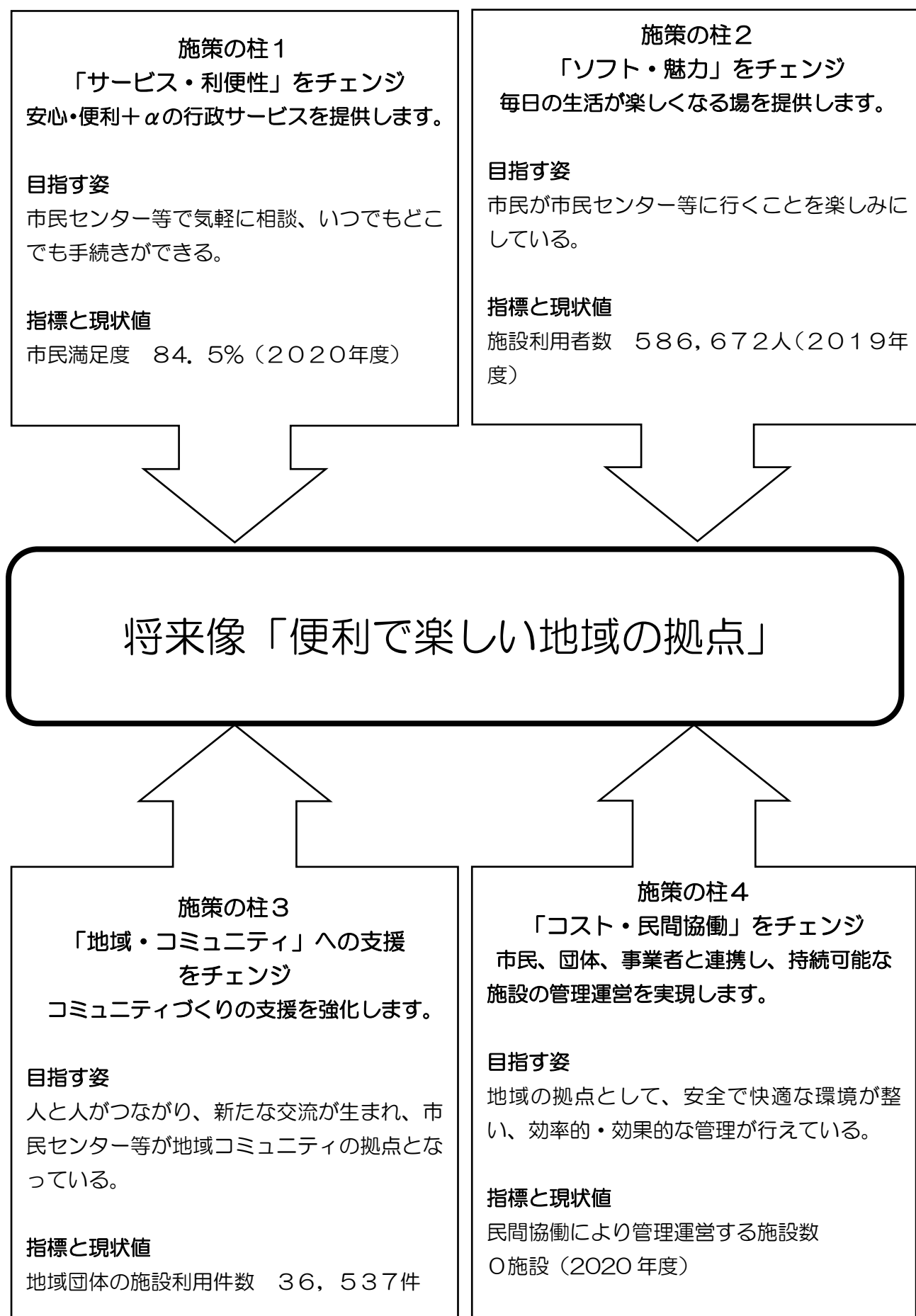
そのため本ビジョンでは、新たな時代に向けて4つの「チェンジ」を推進します。

2 目指す将来像と施策の柱

本ビジョンでは、「サービス・利便性」「ソフト・魅力」「地域・コミュニティ」「コスト・民間協働」という4つ施策の柱を設け、これらの柱に基づく取り組みにより市民センター等が「く便利で楽しい地域の拠点」となることを目指します。

また、施策の成果を測るため、施策の柱ごとの成果指標を設定し、効果的な取り組みを進めていきます。

「4つの柱」と目指す姿と将来像



第4章 取り組みの方向性

施策の柱1「サービス・利便性」をチェンジ

安心・便利+αの行政サービスを提供します！

市役所の手続きは複雑でよく分からない、手間と時間がかかる、そもそも市役所に行く時間がない、という方は多いのではないのでしょうか。国は、マイナンバー制度の導入により「国民の利便性の向上」「公平・公正な社会の実現」「行政の効率化」の実現を目指しています。また、マイナンバーカードの電子証明書機能を活用することで、市役所その他、税務署や社会保険事務所などでの手続きの簡略化やオンラインでの手続きが可能になります。既に（2019年から）e-Tax（国税電申告など）におけるマイナンバーカードによる個人認証が開始されたほか、今後も、健康保険証（2020年度予定）や運転免許証（2024年度予定）としての利活用が進んでいきます。

このようなデジタル技術を活用した行政サービスを実現し、行政窓口での手続きの簡素化や、将来的には市役所に行かなくても手続きができる環境にチェンジします。

一方、スマートフォンやタブレットなどのデジタル機器による手続きへの不安や生活に関する相談には、人と人のコミュニケーションが欠かせません。デジタル社会の進展と並行してしっかりと相談ができる環境を整備します。

また、利用者にとってさらに便利なサービスを提供できるよう市民センター等の機能等を見直します。

（1）目指す姿と指標

「サービス・利便性」のチェンジにより、市民センター等で気軽に相談、いつでもどこでも手続きができる環境を実現します。

また、目指す姿の達成状況を測るため、以下の指標を設定します。

指標：「市民満足度」 【現状値：84.5%（2020年度）】

（2）施策の方向性

「サービス・利便性」のチェンジを促進するため、次の施策に取り組みます。

① 行政手続きのデジタル化の推進

いつでもどこでも安心して手続きができるよう行政手続のデジタル化を推進します。

【施策1】マイナンバーカードの普及促進 「継続」

市民に対して、各種イベント会場でPRチラシを配布するなどの広報活動に取り組むと共に、関係機関と連携してマイナンバーカード取得の案内をします。

【施策2】マイナンバーカード申請の支援 「継続」

マイナンバーカード未申請者に対し、申請に必要な写真撮影サービス等の申請支援を行います。

【施策3】キャッシュレス決済の導入 「拡充」

市民センター等において、住民票等の各種証明書に係る発行手数料等支払いに、クレジットカード、電子マネー、QRコードでの支払いを導入します。

【コラム】町田市のデジタル化

国は、2020年12月25日に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」において、目指すビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会」「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」を掲げています。

また、「デジタル社会の形成に当たっては、国及び地方公共団体において、相互に連携しつつ、情報システムの共同化・集約の推進など、デジタル技術の活用を積極的に推進するために必要な措置を講ずる」としています。

○町田市の取り組み～“e-まち”実現プロジェクト～

町田市では、2020年3月に“e-まち”実現プロジェクトを立ち上げ、市民の利便性向上と市役所業務の生産性向上を目的に、「できることから始めよう。」を合言葉として、組織横断的に行政のデジタル化を進めています。

2020年度には、市税等のキャッシュレス決済を導入し、いつでもどこでも納付できる取り組みを開始しました。2021年度は、市民がインターネットを経由し申請・届出等ができる「電子申請手続の拡充」や、転入手続きの際、住所変更届出の書く手間を簡略化できる「窓口申請支援システムの導入」等を予定しています。

近年の急速なデジタル技術の進展により、市民のライフスタイルや企業のビジネスモデルは大きく変化しています。こうした変化に対応するためにはデジタル技術を十分に活用し社会構造の変化に伴う社会課題の解決を図っていく必要があります。町田市では、デジタル技術を使いこなせない方へも配慮しつつ、誰もがあらゆる活動においてデジタル技術の便益を享受し、安全で安心な暮らしや豊かさを実感できるような社会の実現を目指しています。

② 手続きのための窓口から相談窓口への転換

行政手続きのデジタル化が進むことで、行政手続きのために窓口に行き手続きをする機会が減少することが見込まれます。一方で「市役所の窓口で相談しながら手続きをしたい」「生活に関する悩みごとを相談したい」といった市民の皆さんの声や今後さらに複雑化する社会変化から生まれる新たな相談に対応するため、気軽に相談ができる体制をつくります。

【施策１】証明書発行機能の見直し 「新規」

行政手続のデジタル化に伴い、証明書発行に特化した窓口機能の縮小や廃止を行います。

【施策２】行政窓口での相談・支援 「継続」

行政手続きや生活に関する相談の他、複雑化する相談に対応できる体制を整えます。

③ 市民センター等の機能等の見直し

「フリースペースを充実させてほしい」など、市民のみなさんから寄せられる様々なご意見に応じた機能の充実を図ります。

【施策１】施設ごとの機能等の見直し 「拡充」

市民センター等利用者に対し、必要な機能等の充実を図ります。

【施策２】インターネット環境の充実 「拡充」

集会施設利用者に対して、各種デジタル機器を活用した会議やイベントを開催できる環境を提供します。

【コラム】災害対応

首都直下地震は今後３０年で７０％の確率で発生するといわれています。また、近年ではこれまでにない局地的な集中豪雨が多く発生しており、令和元年東日本台風（台風１９号）などは記憶に新しいところです。

自然災害はいつ発生するか分かりません。発生時に慌てないように、しっかりと「備え」をすることが重要です。

町田市地域防災計画では、全ての市民センターが地震発生時の情報拠点として、また、全ての市民センター＊とコミュニティセンターが風水害時の臨時避難施設として指定されています。そのため、市民センター等には防災無線や防災備品が備え付けられており、２０２０年度には感染症拡大防止のための避難施設開設キットが新たに備えられました。

市民センター等には、市民の命と生活を守る拠点として、しっかりと「備え」を行うことが求められています。

＊小山市民センターを除きます。

施策の柱2「ソフト・魅力」をチェンジ

毎日の生活が楽しくなる場を提供します！

「市民センター等の印象は？」と聞かれたら、多くの方が「市役所の手続きに行く場所」「地域の会合をするところ」と答えられるのではないのでしょうか。

市民センター等は「用事があっていく場所」「一部の市民が使う場所」から「地域みなさんが楽しみにいく場所」にチェンジします。

本ビジョン策定に当たって行った市民ワークショップやインタビューでは、「カフェ等があって、気軽に集まり交流ができる場所になると良い」「魅力的な講座などが開かれるようになると、より活発に施設が使われる」といった声が多くありました。

これらは、地域や施設によって求められるものが異なりますので、地域みなさんとともに「市民センター等に何があったら楽しいだろう」という視点で検討していくことが重要です。地域に住んでいる人、地域で働いている人、個人や団体、事業者の皆さんと連携して、楽しい市民センター等を作り上げていきます。

(1) 目指す姿と指標

「ソフト・魅力」のチェンジにより、行くことが楽しみになる市民センター等を目指します。

また、目指す姿の達成状況を測るため、以下の指標を設定します。

指標：「施設利用者数」 【現状値：586,672人（2019年度）】

(2) 施策の方向性

「ソフト・魅力」のチェンジを促進するため、次の施策に取り組みます。

① 多彩な「楽しみ」を創出

市民、団体、事業者と市が連携して、魅力的な市民センター等にチェンジしていきます。

【施策1】地域ワークショップの開催とイベント等の実施 「継続」

地域の市民、団体、事業者と市が連携して行うイベント等の充実について、地域ワークショップで検討し、実施します。

【コラム】武蔵野市立「武蔵野プレイス」（事例紹介）

（図書館、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援にカフェの機能を備えた複合機能施設）

武蔵野プレイスは、人々の交流が自然に生み出される質の高い「場」を提供し続けることによって、生活、文化、芸術、自然、歴史、まちづくり、ボランティア活動、市民活動、生涯学習、福祉、教育といった横断的な活動や交流のネットワークの活性化を促します。

多様な人々がそれぞれの活動を通して時間を共有する快適な空間（場）は、地域社会の魅力を高めることに寄与します。

カフェでは、「図書館で本を借りる」「生涯学習講座に参加する」「市民活動団体が集まる」「青少年がスタジオでダンスやバンドの練習をする」等々の目的を終えた後に、仲間と情報交換をしたり、または一人でほっと一息つける場として、「知的好奇心」の余韻をお楽しみいただけます。



（出典：「武蔵野プレイス」ホームページ）

【施策2】施設使用ルールの見直し 「継続」

新たな使用形態に応じて施設使用ルールを見直します。

② 利用団体等が実施するイベントの支援

市民センター等利用団体の実施するイベントがより魅力的になるよう支援します。

【施策】地域センター祭り支援 「継続」

地域センター祭り実行委員会に対して、祭りの運営や広報の支援を行います。

③ <学び>の場の提供

市民センター等の会議室等を活用して、市民が市民センター等を<学び>の場として利用できる環境を整備します。

【施策】スペースシェアリングの導入 「拡充」

市民センター等の会議室等を市民が学習等を行う共有スペースとして活用します。

施策の柱３「地域・コミュニティ」への支援をチェンジ

コミュニティづくりの支援を強化します！

近年、ライフスタイルや価値観の多様化などを背景に、町内会・自治会の加入率の減少傾向が続くなど、地域を取り巻く環境が変わってきています。

こうした中、市内では、町内会・自治会をはじめとした地域で活動するさまざまな団体が連携協力して、地域の魅力向上と情報発信、地域課題の解決に取り組むネットワーク組織である「地区協議会」が積極的な活動をしています。

また、町田市では、全ての市民センターに地域市民相談室を設置し、地域住民のさまざまな相談を受けています。

今後は、市民センター等がこのような地域の活動や相談機能を充実させ、これまで以上に地域活動の拠点となるようにチェンジします。

（１）目指す姿と指標

「地域・コミュニティ」への支援のチェンジにより、人と人がつながり、新たな交流が生まれ、地域コミュニティの拠点となる市民センター等を目指します。

また、目指す姿の達成状況を測るため、以下の指標を設定します。

指標：「地域団体の施設利用件数」 【現状値：３６，５３７件】

（２）施策の方向性

「地域・コミュニティ」への支援のチェンジを促進するため、次の施策に取り組みます。

① 地域のコミュニティづくりの相談や支援を行う体制の整備

市民のコミュニティづくりの活動をサポートする体制を整備します。

【施策】相談体制の充実 「継続」

各市民センターで行っている相談体制を充実し、地域のコミュニティづくりをサポートします。

② 地域活動の拠点としての活用推進

地域活動や市民活動の拠点となる市民センター等は、若者や子育て世代から高齢者まで、誰もが利用しやすい施設であることが望めます。様々な方が交流し、地域の活性化につながる地域住民の居場所となるよう地域活動の拠点としての活用を推進します。

【施策】地域ニーズの把握と実施 「継続」

地域活動に必要な機能等について、ワークショップやタウンミーティング等を行い、地域特性

や需要を把握し、実施します。

③ 地域活動の支援

市民センター等を訪れた方が、様々な地域活動を知り、参加するための支援を行います。

【施策】地域活動の案内・マッチング 「継続」

市民団体に関する情報発信の強化や、地域団体や地域支援団体の紹介等を行います。

【コラム】町田市地域市民相談室とは

町田市では全ての市民センターに「地域市民相談室」を設置しています。相談室には「地区担当職員」を配置し、市民の皆さんからの市政要望や市役所業務に対する問い合わせだけではなく、さまざまな相談ごとをお受けしています。

行政窓口は社会のデジタル化によって縮小していくことが予想されますが、市民のみなさんが対面で相談できる場所が地域にあることがとても大切だと考えています。

施策の柱4「コスト・民間協働」をチェンジ

市民、団体、事業者と連携し、持続可能な施設の管理運営を実現します！

行政手続きのデジタル化の進展や、地域コミュニティの活性化などへの市民の求めに応じて、今後、市民センター等の行政窓口や集会施設は大きく変わっていかねばなりません。

市民センター等においては、施設の管理費や老朽化に伴う維持補修費に多額のコストがかかっており、今後は、他公共施設・民間施設等との集約化や複合化・多機能化により、建物総量の圧縮を図りつつも、地域の活動拠点として市民、団体、事業者と市が協働し、市民サービスをこれまで以上に向上させていくことが重要です。

例えば、施設管理や情報の発信は民間事業者が担う、地域と連携したイベントの開催は地域住民や団体が担うなど、各々が持つ知恵やノウハウ、強みを活かして、市民センター等の効果的、効率的な管理運営を図ります。

（１）目指す姿と指標

「コスト・民間協働」のチェンジにより、地域の拠点として、安全で快適な環境の整った市民センター等を目指します。

また、目指す姿の達成状況を測るため、以下の指標を設定します。

指標：「民間協働により管理運営する施設数」 【現状値：0施設（2020年度）】

（２）施策の方向性

「コスト・民間協働」のチェンジを促進するため、次の施策に取り組みます。

① 管理運営手法の見直し

これまで市民センター等は市が直営で管理運営を行ってきました。今後は、市民、団体、事業者と市が協働し、それぞれの得意分野を活かした魅力的な運営や効率的な管理を行います。

【施策】 民間の団体や事業者による市民センター等の管理運営の導入 「新規」

民間の団体や事業者による市民センター等の管理運営（指定管理者制度等）の導入に向けた検討を行います。

【コラム】指定管理者制度とは

公の施設の管理運営に民間事業者等のノウハウを活用し、市民サービスの質の向上を図ることで、施設の設置目的を効果的に達成するために設けられた制度が「指定管理者制度」です。

指定管理者の選定手続は原則として公募で行われるため、民間事業者等の間の競争原理により、管理運営経費の縮減にもつながります。

町田市では、指定管理者が行う管理運営状況の評価を毎年度実施しており、評価をするための判断材料として利用者の満足度を重視しています。評価結果等を踏まえ、必要に応じて指定管理者に対して改善の指示を行っています。

- ・民間事業者等の参入で、施設の使用料が高くなる!?

市民センター等の使用料は市の条例で定められているため、指定管理者の判断で値上げすることはできません。

② 情報発信の強化

これまで市民センター等に関する情報発信は、市民センター等内の掲示板や広報まちだ、町田市ホームページなどで行っていました。今後は、より多くの方に利用してもらうため幅広く情報を発信するとともに、必要な人に必要な情報が届くよう、広報の充実を図ります。

【施策1】地域と連携した情報発信 「継続」

地域の住民や団体、事業者と連携して情報を発信します。

【施策2】多様なツールを活用した情報発信 「継続」

SNS等を活用し、情報を発信します。

③ 他の公共施設・民間施設の活用

他の公共施設・民間施設を活用し、市民の利便性やサービス向上と維持管理費の削減を図ります。

【施策】学校施設等の有効活用（複合化・多機能化） 「新規」

学校施設や他公共施設・民間施設の有効活用（複合化・多機能化）の検討を行い実施します。

【コラム】学校との複合化・多機能化（事例紹介）

・小学校と地域住民利用施設との複合化・多機能化（埼玉県吉川市 吉川市立美南小学校）

埼玉県吉川市では、小学校の整備にあたって、公民館、高齢者ふれあい広場、子育て支援センター、学童保育室などの地域の複数の公共施設を一体的に整備しました。放課後には学校の特別教室も地域開放を行っています。様々な世代が利用する施設が複合化されたことにより、児童と施設利用者の交流等が実現し、地域コミュニティの拠点となっています。

（出典：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」）

5 スケジュール

柱	施策の方向性	個別施策						27-36				37-39			
		2021	2022	2023	2024	2025	2026								
1 サービス・利便性	① 行政手続きのデジタル化の推進		→	→	→	→	→								
				→	→	→	→								
			→	→	→	→	→								
2 ソフト・魅力	② 手続きのための窓口から相談窓口への転換		→	→	→	→	→								
			→	→	→	→	→								
	③ 市民センター等の機能等の見直し		→	→	→	→	→								
3 地域・コミュニティ	① 多彩な「楽しみ」を創出		→	→	→	→	→								
	② 利用団体等が実施するイベントの支援		→	→	→	→	→								
	③ <学び>の場の提供		→	→	→	→	→								
4 コスト・民間協働	① 管理運営手法の見直し		→	→	→	→	→								
	② 情報発信の強化		→	→	→	→	→								
	③ 他の公共施設・民間施設の活用		→	→	→	→	→								

※中間見直しは町田市公共施設再編計画の計画期間（短期・中期・長期）に合わせて実施します。

→	実施
→	行政手続きのデジタル化の進展に合わせて実施
→	施設の更新時期に合わせて実施

第5章 ビジョンの推進に向けて

1 ビジョンの推進について

本ビジョンを着実に推進するため、各地域センターの運営委員会やセンター祭り実行委員会、町田市町内会・自治会連合会、地区協議会などの地域団体や地域支援団体、大学等の教育機関、民間事業者等と行政が協働しながら各事業に取り組みます。

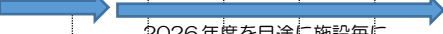
また、これらの取り組みの円滑な推進と計画の進捗管理を行うため、「（仮称）町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」を設置するとともに、社会変化に迅速に対応するため「町田市公共施設再編計画（短期・中期・長期）」に合わせてビジョンの中間見直しを行います。

2 今後の検討の進め方（2021～2026 年度）

（1）具体的な取り組みの検討

デジタル化の急進等、めまぐるしく変化する社会状況等を見据えた今後の具体的な取り組みについて、2022 年度を目途に「（仮称）町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会」等で検討します。

（2）検討内容

課題	具体的な検討事項	スケジュール					
		2021	2022	2023	2024	2025	2026
① 手続きのための窓口から相談窓口への転換	行政手続きのデジタル化に伴い、証明書発行に特化した窓口機能の縮小や廃止と、行政窓口での相談体制の充実について検討します。	 推進委員会等において検討 2026 年度を目途に証明書発行に特化した窓口機能の縮小や廃止 相談体制の整備 ※2027 年度以降も継続して実施					
② 魅力向上と地域拠点としての活用	地域の実情・特性に応じた市民センター等における取り組みの実施にあたり、実施体制及び提供手段について検討します。	 推進委員会等において検討 地域毎に順次実施体制の構築及び取り組みの実施 ※2027 年度以降も継続して実施					
③ 管理運営手法の見直し	民間の団体や事業者による市民センター等の管理運営（指定管理者制度等）の導入を検討します。	 推進委員会等において検討 2026 年度を目途に施設毎に順次新たな管理運営手法の導入					
④ 他の公共施設・民間施設の活用	地域特性や需要を踏まえた必要な機能等を考慮し、学校施設や他公共施設・民間施設の活用（複合化・多機能化）を検討します。	 推進委員会等において検討 「（仮称）町田市新たな学校づくり推進計画」等と連携して順次検討・実施 ※2027 年度以降も継続して実施					

課題 ①「手続きのための窓口から相談窓口への転換」

行政手続きは、（通称）デジタル手続き法の成立に伴うオンライン化や、マイナンバーを利用した情報連携、マイナンバーカードの普及によるコンビニエンスストアでの証明書自動交付サービスの利用増加により、行政窓口へ来所することなく自宅や身近な場所でより簡単に可能となります。今後、行政手続きのデジタル化を推進すると共に、相談体制を充実するなど、行政サービスの役割についても変化させていく必要があります。

課題 ②「魅力向上と地域拠点としての活用」

地域の実情・特性に応じた魅力的な市民センター等の実現に向け、イベント等の取り組みの実施にあたっては地域毎のニーズを把握し、市民、団体、事業者と市が連携するなど、実施体制を構築するとともに、提供環境を整える必要があります。また、地域コミュニティの活性化などの市民の求めに応じ、地域の活動拠点として市民サービスをこれまで以上に向上させていく必要があります。

課題 ③「管理運営手法の見直し」

現在、市が行っている市民センター等の管理運営について、社会状況の変化等に伴い、今後より一層多様化する市民ニーズに的確に対応した魅力的な運営や、効果的・効率的な管理に向けた管理運営手法の見直しが必要です。

課題 ④「他の公共施設・民間施設の活用」

市民センター等は、施設の管理費や老朽化に伴う維持補修費に多額のコストがかかっており、他の公共施設・民間施設との集約化や複合化・多機能化により、建物総量の圧縮を図ることが必要です。

(仮称) 町田市市民センター等の未来ビジョン策定の経過

2020 年度	町田市市民センター等のあり方 検討委員会	意見募集等
7月	○第1回 7月20日開催 場 所：市庁舎 第1委員会室 ・計画策定の目的と背景 ・市民センター等の現状と課題 ・検討スケジュール ・計画の方向性の議論	
8月		
9月	○第2回 9月16日開催 場 所：忠生市民センター 会議室 ・計画の方向性 ・ワークショップ等の実施状況 ・計画の構成の議論 ・行政窓口・集会施設の行政サービスのあり方の議論	○地区協議会へのインタビュー ・木曽地区 9月 9日 実施 ・忠生地区 14日 実施 ・相原地区 24日 実施 ・鶴川地区 28日 実施 ・玉川学園・南大谷地区 29日 実施 ・小山地区 10月 1日 実施 ・町田第二地区 15日 実施 ・南地区 29日 実施 ・町田第一地区 11月27日 実施 ・高ヶ坂・成瀬地区 27日 実施
10月	○第3回 10月21日開催 場 所：市庁舎 第1委員会室 ・計画の構成 ・ワークショップ等の実施状況 ・行政窓口・集会施設の行政サービスのあり方の議論	○町田創造プロジェクトワークショップ 9月10日、10月1日・8日 (全3回) 実施
11月	○第4回 11月19日開催 場 所：市庁舎 第2委員会室 ・ワークショップ等の実施状況 ・市民意見募集の実施内容 ・素案のまとめ	○公募市民オンラインワークショップ 10月25日、11月1日 (全2回) 実施
12月		○各市民センター等利用者ワークショップ ・南市民センター 10月30日 実施 ・小山市民センター 11月 4日 実施 ・木曽山崎コミュニティセンター 13日 実施 ・なるせ駅前市民センター 17日 実施 ・鶴川市民センター 18日 実施 ・堺市民センター 26日 実施 ・つくし野コミュニティセンター 11月26日 実施

		・成瀬コミュニティセンター 29日 実施 ・忠生市民センター 30日 実施 ・木曽森野コミュニティセンター 12月 1日 実施 ・三輪コミュニティセンター 3日 実施 ○素案に対する市民意見募集 12月15日～2021年1月15日
1月		
2月	○第5回 2月17日開催 開催方法：リモート会議による開催 ・素案に対する市民意見募集の結果 ・計画（案）のまとめ ・報告書作成	○素案に対する市民意見募集の 実施結果公表 2月15日
3月	○検討委員会委員長から市長へ 検討報告書の提出 3月4日	